



# HaNaWoodテラス

## 取扱説明書

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
正しく安全にご使用していただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

### 施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

本文中の **⊘ 禁止**、**⚠ 注意** の表示箇所は特に重要です。必ずお守りください。  
守れない場合、思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。

### ⊘ 禁止

- 事故や故障の原因になりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- ケガや事故の原因になりますので、製品を破損・故障・変形したままで使用しないでください。
- 破損や事故の原因になりますので、アーチの上に登ったり、桁にぶら下がったり、柱に寄りかかったりしないでください。又、柱や桁等に洗濯物を干したり、ブランコ等の遊具を取り付けしないでください。
- 火災の原因になりますので、火気を近づけないでください。
- 変形や変色の原因になりますので、有機溶剤や石油類を付着しないようにしてください。
- 高圧洗浄機は使用しないでください。
- 杉部分を舐めたり、噛んだりしないでください。  
安全な材料を使用しておりますが、健康を害する恐れがあります。

### ⚠ 注意


- 杉部分が降雨時等で濡れた場合、まれに白いシミのような物が発生する場合があります。  
これは塗膜内の界面活性剤が残っている場合に起こりますが、自然乾燥させることにより  
白いシミは減少していきます。この部分は柔らかくなっておりますので、タオル等でふかないでください。  
触らずに乾燥させることにより白いシミは消滅しますので、そのまま放置してください。
- 天然木のため、1枚1枚の個々の質感の差や色差・色ムラ・木目の差・多少の節があります。
- 自然有効活用の観点から、節の破損部はパテ埋めにて補修を行っております。



# HaNaWoodテラス


## 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様などの危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく確認したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。


安全に関する記号	記号の意味
 <b>注意</b>	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。

製品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

### 施工の前に

-  **注意** ●正しく施工・組付をするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 本製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

### 施工上のご注意

-  **注意** ●施工前に杉部分に太陽光を当てないでください。反りの恐れがあります。
- 施工前に杉部分を重ねて直接触れる状態、または濡れた状態で放置しないでください。杉と杉が引っ付くことがあります。杉部分を重ねる際には、間紙等を使用してください。
- 強い衝撃を与えないでください。変形やキズの原因となります。
- 杉部分塗装面は有機溶剤や石油類に侵されやすいので、付着しないようにしてください。
- 火気があると燃える可能性があります。火気は近づけないでください。
- 杉部分が降雨時等で濡れた場合、まれに白いシミのような物が発生する場合があります。これは塗膜内の界面活性剤が残っている場合に起こりますが、自然乾燥させることにより白いシミは減少していきます。この部分は柔らかくなっておりますので、タオル等でふかないでください。触らずに乾燥させることにより白いシミは消滅しますので、そのまま放置してください。
- 天然木のため、1枚1枚の個々の質感の差や色差・色ムラ・木目の差・多少の節があります。
- 自然有効活用の観点から、節の破損部はパテ埋めにて補修を行っております。
- 本仕様は、耐風圧38m/s (Vo) 地表面粗度区分Ⅲになります。崖や海の近く、強風 (Vo 38m/s以上) の場合は、設置しないでください。
- 豪雪地への設置は避けてください。

# INDEX

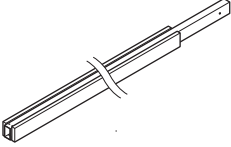




INDEX	1
梱包明細表	2~7
各部名称 単体仕様	8
基本寸法図	9・10
●単体仕様	9
●連棟仕様	10
1.基礎工事	11
1.柱の建込み	11
2.フレームの施工	11~14
1.長さ桁への柱桁連結金具・桁連結金具の取付	11
2.水下長さ桁と柱・出幅桁の連結	12・13
3.シーリング	13
4.桁下化粧杉の取付	14
3.横樋の取付	14・15
1.横樋の加工	14
2.横樋の連結(連棟の場合)	15
3.横樋の取付	15
4.縦樋の取付	15~17
1.縦樋の加工	15~17
5.テラス用アーチの取付	18~20
1.水上桁上スペーサーの取付	18
2.桁幕板連結金具の取付	18
3.テラス用アーチの取付	19・20
6.屋根材の取付	21~25
1.タイトフレームの取付	21
2.ポリカ屋根材の加工・取付	21・22
3.幕板の加工	22
4.出幅幕板の取付	23
5.水上幕板の取付	23・24
6.水下幕板の取付	24・25

## 梱包明細表



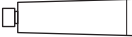
### ご注意

- 開梱時に製品の種類と数量をご確認ください。
- 商品に異常がない事をご確認ください。

### 柱セット

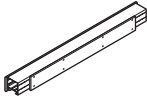
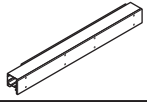
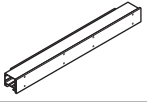
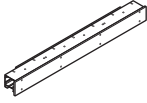
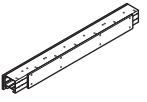
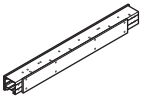
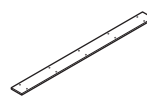

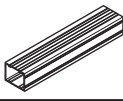







名称 部材・部品	略図	員数
		基本・連棟タイプ H24
柱		1
柱桁連結金具		1
φ5×25ナベドリルネジ		5
φ5×16トラスタッピンネジ		5
アンカー棒		1
取扱・取付説明書		1

### 縦樋セット

名称 部材・部品	略図	員数
		基本・連棟タイプ H24
縦樋カバー		1
縦樋ベース		1
φ42型丸樋		1
φ42型Nアタッチメント		1
φ42型サドル受け		2
φ42型サドルバンド		2
φ42型丸エルボ		1
φ42型Nアタッチメントパッキン		1
縦樋水切りパッキン		1
縦樋蓋		1
接着剤		1
縦樋隙間材		3
φ4×60ナベドリルネジ		4
φ4×13ナベドリルネジ(生地)		9
φ4×13ナベドリルネジ(頭塗装)		3








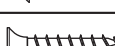
# 梱包明細表

## 長さ桁セット

名称 部材・部品	略図	員数											
		基本タイプ				連棟タイプ							
		W12	W18	W24	W28	W12 連棟(左)	W12 連棟(右)	W18 連棟(左)	W18 連棟(右)	W24 連棟(左)	W24 連棟(右)	W28 連棟(左)	W28 連棟(右)
基本水上長さ桁		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
連棟水上長さ桁(左)		—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—
連棟水上長さ桁(右)		—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1
基本水下長さ桁		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
連棟水下長さ桁(左)		—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—
連棟水下長さ桁(右)		—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1
長さ桁化粧杉		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
桁連結金具		2	2	2	2	2	1	2	1	2	1	2	1
連棟長さ方向桁延長スリーブ		—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—
水上桁上スペーサー		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
連棟水上桁上スペーサー(左)		—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—
連棟水上桁上スペーサー(右)		—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1
横樋		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
連棟用横樋		—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	1	1
横樋連棟スリーブ		—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—
横樋蓋		2	2	2	2	2	—	2	—	2	—	2	—


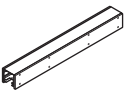
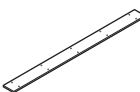
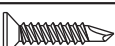

# 梱包明細表

## 長さ桁セット

φ4×25フレキ付サラドリルネジ		10	12	16	18	10	10	14	14	16	16	18	18
φ4×25ナベドリルネジ		5	8	8	9	5	5	8	8	8	8	9	9
φ4×13ナベドリルネジ		10	10	10	10	10	—	10	—	10	—	10	—
φ5×25ナベドリルネジ		21 (13)	24 (13)	27 (13)	29 (13)	30 (22)	7	33 (22)	7	36 (22)	7	38 (22)	7
φ5×50ナベドリルネジ		5	5	6	6	5	—	5	—	6	—	6	—
φ4×16トラスタッピングネジ		—	—	—	—	3	—	3	—	3	—	3	—
φ5×16トラスタッピングネジ		5	5	5	5	5	3	5	3	5	3	5	3
φ3.3×25スリムネジ		7	7	7	7	4	4	4	4	4	4	4	4

※φ5×25 ナベドリルネジは水上桁・水下桁により個数が異なります。  
( )内が水下、( )がないものが水上です。

## 出幅桁セット

名称	略図	員数											
		基本タイプ				連棟タイプ							
		D12	D18	D24	D28	D12 連棟(左)	D12 連棟(右)	D18 連棟(左)	D18 連棟(右)	D24 連棟(左)	D24 連棟(右)	D28 連棟(左)	D28 連棟(右)
出幅桁		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
連棟用出幅桁		—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—
出幅桁下化粧杉		1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	2	1
φ4×25フレキ付サラドリルネジ		10	12	16	18	10	10	12	12	16	16	18	18
φ3.3×25スリムネジ		7	7	7	7	4	4	4	4	4	4	4	4

## テラス用アーチ杉セット

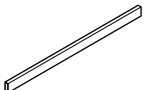


※テラス用アーチ杉は選択式です。

名称	略図	員数											
		基本タイプ				連棟タイプ							
		W12	W18	W24	W28	W12 連棟(左)	W12 連棟(右)	W18 連棟(左)	W18 連棟(右)	W24 連棟(左)	W24 連棟(右)	W28 連棟(左)	W28 連棟(右)
テラス用アーチ杉		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
テラス用アーチ金具		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
φ4×13ナベドリルネジ		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
φ4×25ナベスタッピングネジ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2



# 梱包明細表

## テラス用アーチアルミセット




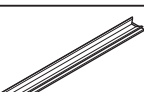
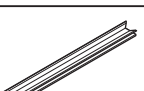
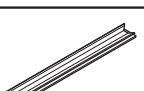
※テラス用アーチアルミは選択式です。

名称 部材・部品	略図	員数											
		基本タイプ				連棟タイプ							
		W12	W18	W24	W28	W12 連棟(左)	W12 連棟(右)	W18 連棟(左)	W18 連棟(右)	W24 連棟(左)	W24 連棟(右)	W28 連棟(左)	W28 連棟(右)
テラス用アーチアルミ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
テラス用アーチ金具		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
φ4×13ナベドリルネジ		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

## テラス用アーチ端部セット


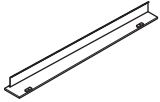



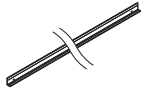
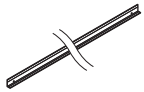



名称 部材・部品	略図	員数											
		基本タイプ				連棟タイプ							
		W12	W18	W24	W28	W12 連棟(左)	W12 連棟(右)	W18 連棟(左)	W18 連棟(右)	W24 連棟(左)	W24 連棟(右)	W28 連棟(左)	W28 連棟(右)
テラス用アーチ端部		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
テラス用アーチ金具		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
φ4×13ナベドリルネジ		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

## 幕板セット

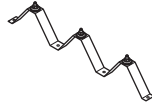







名称 部材・部品	略図	員数											
		基本タイプ				連棟タイプ							
		W12	W18	W24	W28	W12 連棟(左)	W12 連棟(右)	W18 連棟(左)	W18 連棟(右)	W24 連棟(左)	W24 連棟(右)	W28 連棟(左)	W28 連棟(右)
基本水上幕板		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
連棟水上幕板(左)		—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—
連棟水上幕板(右)		—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1
基本水下幕板		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
連棟水下幕板(左)		—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—
連棟水下幕板(右)		—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1

# 梱包明細表

## 幕板セット

出幅幕板(左)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
出幅幕板(右)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
水上幕板パッキン		3	4	5	5	3	3	4	4	5	5	5	5
水下幕板パッキン		6	9	12	14	8	5	11	8	14	11	16	13
出幅幕板パッキン		2	3	3	4	2	2	3	3	3	3	4	4
桁幕板連結金具		1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
連棟用桁幕板連結金具		—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4×25ナベドリルネジ		10	13	16	18	5	5	8	8	8	8	9	9
φ3.3×25スリムネジ(生地)		6	7	9	10	6	6	8	8	8	8	9	9
φ3.3×25スリムネジ(頭塗装)		7	7	7	7	7	4	7	4	7	4	7	4





## タイトフレームセット

名称 部材・部品	略図	員数											
		基本タイプ				連棟タイプ							
		W12	W18	W24	W28	W12 連棟(左)	W12 連棟(右)	W18 連棟(左)	W18 連棟(右)	W24 連棟(左)	W24 連棟(右)	W28 連棟(左)	W28 連棟(右)
タイトフレーム(中間用)		1	2	3	4	2	1	3	2	4	3	5	4
タイトフレーム(エンド用)		2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	—	—
タイトフレーム(ケラバ端部用)		—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	1
タイトフレーム用山座付ナット		7	10	13	15	8	5	11	8	14	11	16	13
ボルトキャップ		7	10	13	15	8	5	11	8	14	11	16	13
ゴムパッキン		7	10	13	15	8	5	11	8	14	11	16	13
φ4×25CRゴムパッキン付ドリルネジ		4	6	7	8	4	3	6	4	7	6	8	7
φ5×16トラスタッピングネジ		10	14	18	22	11	7	16	12	20	16	23	20

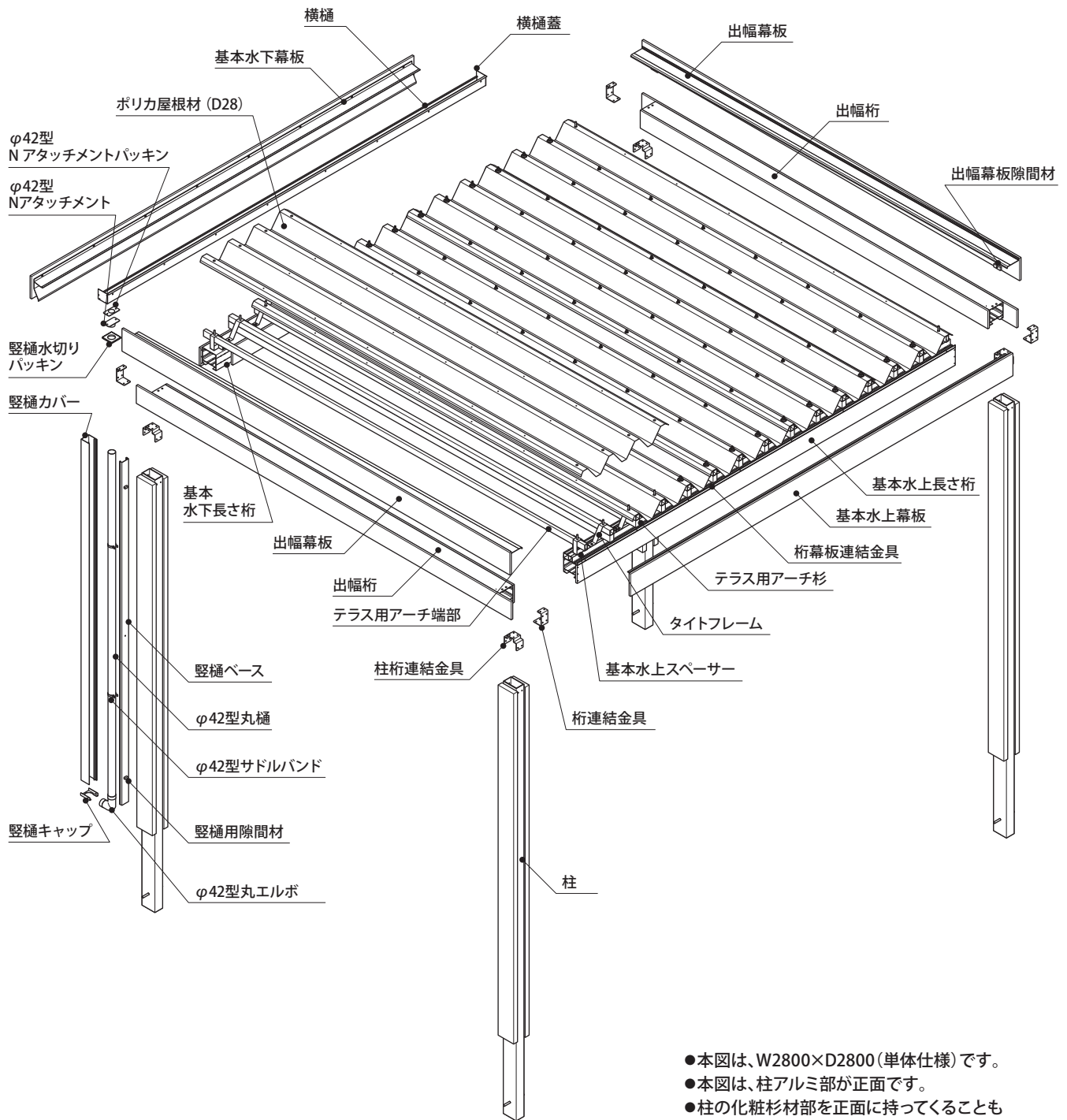


## 梱包明細表

### 屋根材 単品

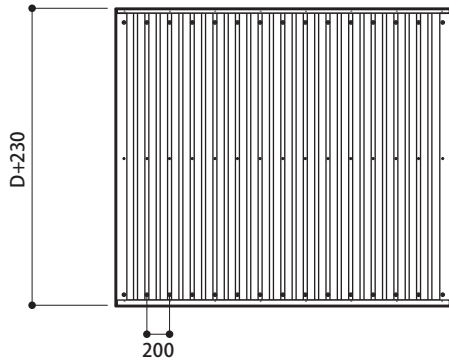
名称 部材・部品	略図	員数
ポリカ屋根材D12		1
ポリカ屋根材D18		1
ポリカ屋根材D24		1
ポリカ屋根材D28		1

# 各部名称 単体仕様

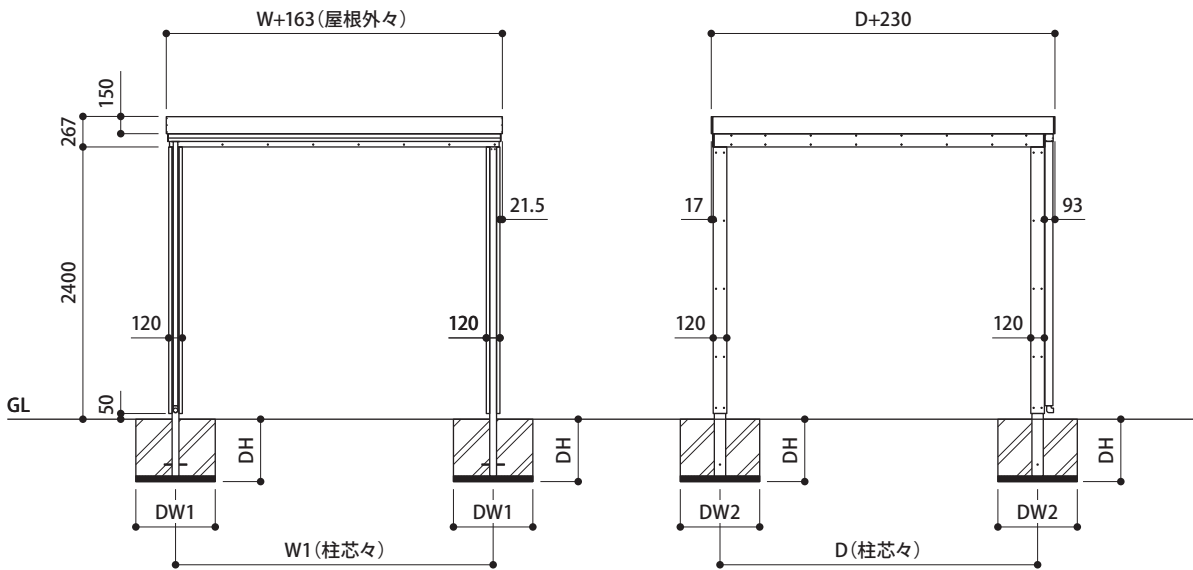


- 本図は、W2800×D2800(単体仕様)です。
- 本図は、柱アルミ部が正面です。
- 柱の化粧杉材部を正面に持つことも可能です。

# 基本寸法図 単体仕様



※本図は、柱アルミ部正面納まりを示します。

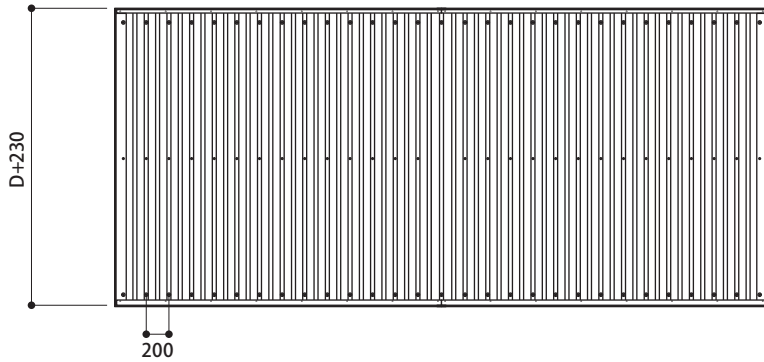


■寸法表 (mm)

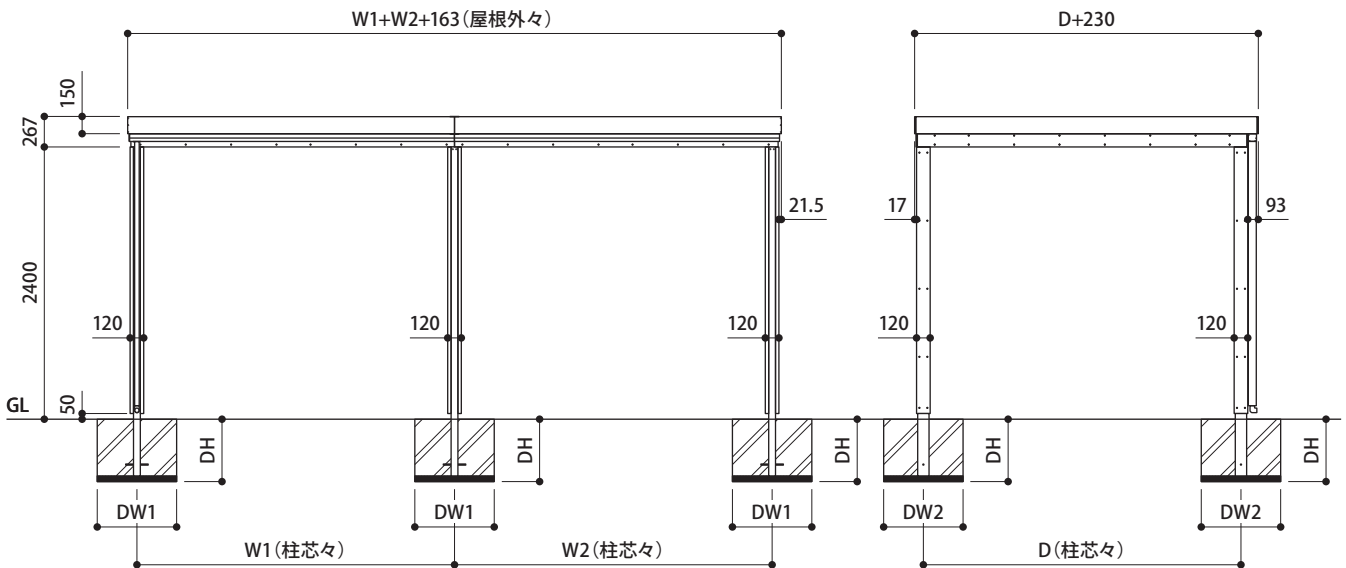
	サイズ		W	D	DW1	DW2	DH
	600 タイプ	W12	D12	1200	1200	600	500
D18			1200	1800			
D24			1200	2400			
D28			1200	2800			
W18		D12	1800	1200	600	500	
		D18	1800	1800			
		D24	1800	2400			
		D28	1800	2800			
W24		D12	2400	1200	600	500	
		D18	2400	1800			
		D24	2400	2400			
		D28	2400	2800			
W28	D12	2800	1200	600	500		
	D18	2800	1800				
	D24	2800	2400				
	D28	2800	2800				
1500 タイプ	W12	D12	1200	1200	600	500	
		D18	1200	1800			
		D24	1200	2400			
		D28	1200	2800			
	W18	D12	1800	1200	600	500	
		D18	1800	1800			
		D24	1800	2400			
		D28	1800	2800			

※数値は参考寸法です。保障値ではございません。  
 ※風当たりの強い場所ではより強度のある基礎施工をしてください。  
 ※基礎石での施工はしないでください。

# 基本寸法図 連棟仕様



※本図は、柱アルミ部正面納まりを示します。



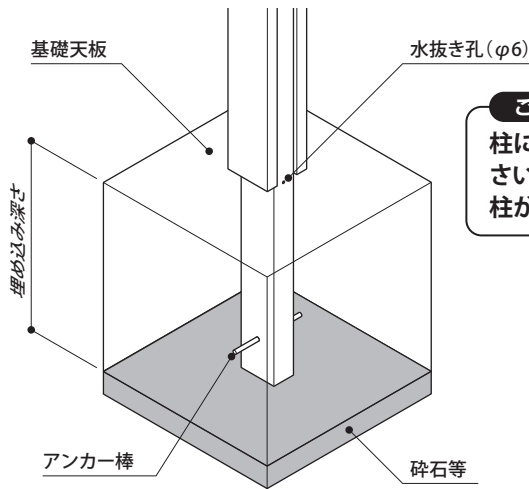
■寸法表 (mm)

	サイズ		W1+W2	D	DW1	DW2	DH
	連棟	タイプ					
600 タイプ	連棟W12	D12	2400	1200	600		500
		D18	2400	1800			
		D24	2400	2400			
		D28	2400	2800			
	連棟W18	D12	3600	1200	600		500
		D18	3600	1800			
		D24	3600	2400			
		D28	3600	2800			
	連棟W24	D12	4800	1200	600		500
		D18	4800	1800			
		D24	4800	2400			
		D28	4800	2800			
連棟W28	D12	5600	1200	600		500	
	D18	5600	1800				
	D24	5600	2400				
	D28	5600	2800				
1500 タイプ	連棟W12	D12	2400	1200	600		500
		D18	2400	1800			
		D24	2400	2400			
		D28	2400	2800			
	連棟W18	D12	3600	1200	600		500
		D18	3600	1800			
		D24	3600	2400			
		D28	3600	2800			

※数値は参考寸法です。保障値ではございません。  
 ※風当たりの強い場所ではより強度のある基礎施工をしてください。  
 ※基礎石での施工はしないでください。

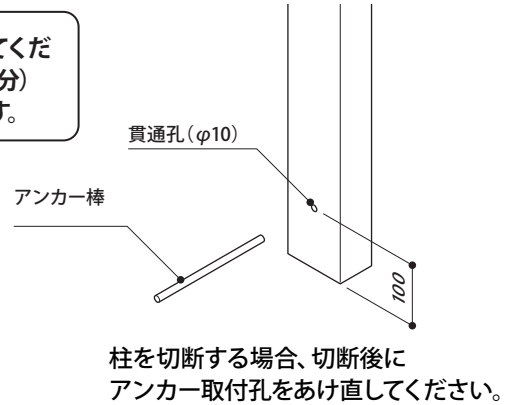
# 1.基礎工事

## 1.柱の建込み



**ご注意**  
 柱に水抜き孔 (φ6) をあけてください。(基礎天板より上の部分)  
 柱が破損する恐れがあります。

部材名	梱包名称
柱	柱セット
アンカー棒	



## 2.フレームの施工

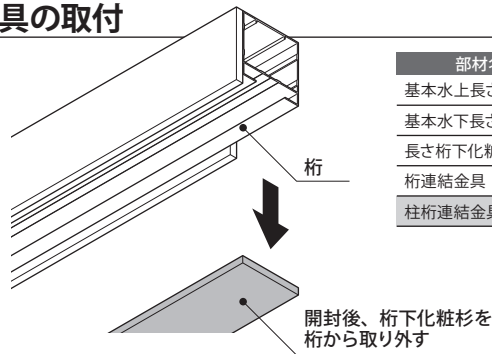
### 1.長さ桁への柱桁連結金具・桁連結金具の取付

#### 1.桁下化粧杉の取外し

梱包開封後に、桁下面の桁下化粧杉を取り外します。

**ご注意**

これは単体の場合となります。  
 連棟の場合は、P.11~13を参照してください。



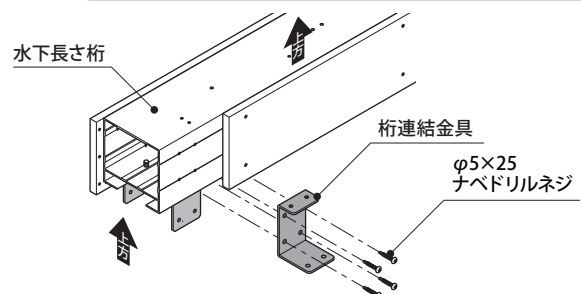
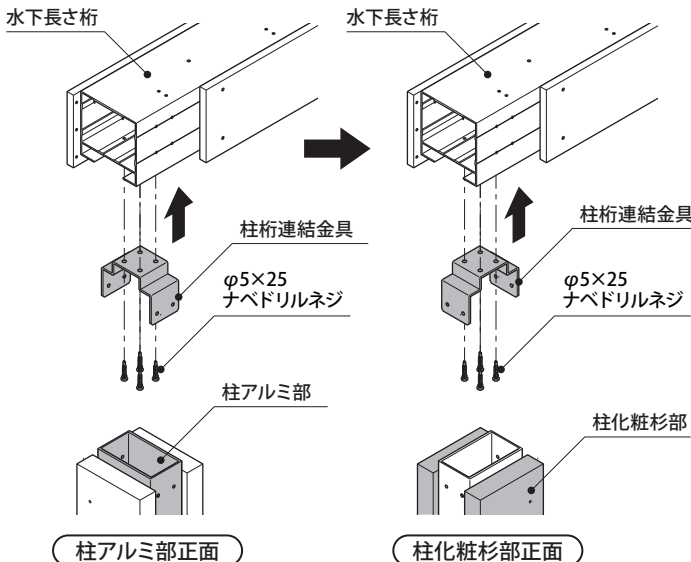
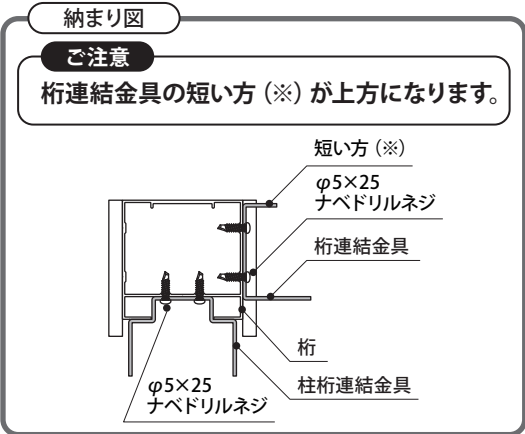
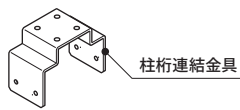
部材名	梱包名称
基本水上長さ桁	長さ桁セット
基本水下長さ桁	
長さ桁下化粧杉	
桁連結金具	柱セット
柱桁連結金具	

#### 2.柱桁連結金具・桁連結金具の取付

桁下面・側面の各下孔に合わせて、連結金具を取り付けます。  
 桁下面に柱桁連結金具を、桁側面に桁連結金具をφ5×25ナベドリルネジで取り付けてください。柱桁連結金具の向きで柱の設置向きが決まります。

**ご注意**

柱化粧杉を正面に持ってくる場合、柱桁連結金具の向きを変えて取り付けてください。(下図参照)

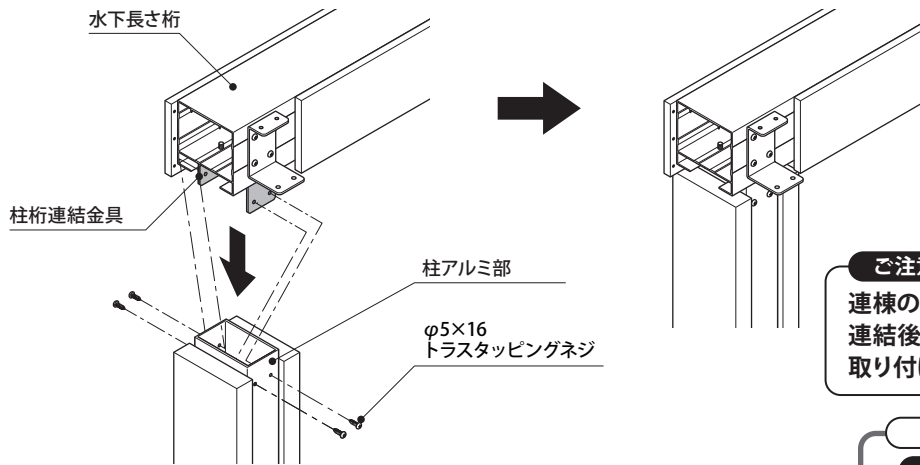


## 2. フレーム体の施工

### 2. 水下長さ桁と柱・出幅桁の連結

#### 1. 単体の場合

- ① 柱アルミ部へ桁両端に取り付けた柱桁連結金具を挿入し、 $\phi 5 \times 16$  トラスタッピングネジで取り付けます。

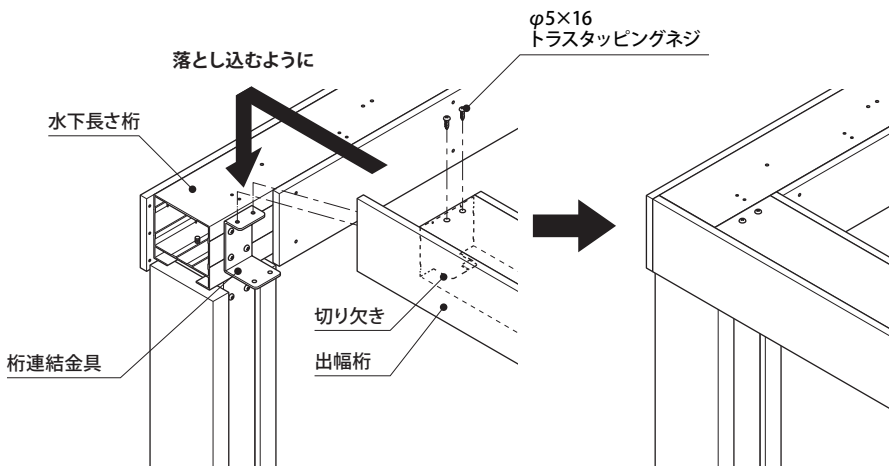


部材名	梱包名称
出幅桁	出幅桁セット
出幅桁下化粧杉	

#### ご注意

連棟の場合は、先に桁延長スリーブで連結後、桁連結金具・柱桁連結金具を取り付けてください。(P.13参照)

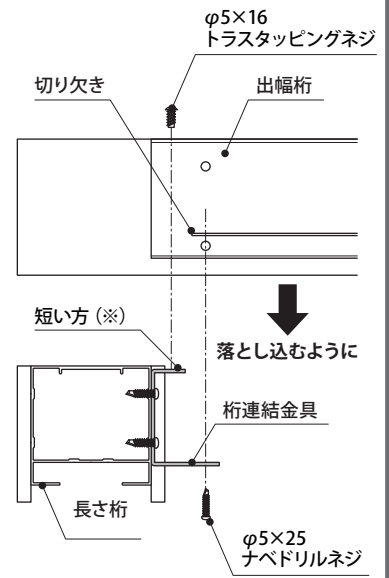
- ② 水下長さ桁に、出幅桁を取り付けます。  
出幅桁の上から、 $\phi 5 \times 16$  トラスタッピングネジで取り付けます。



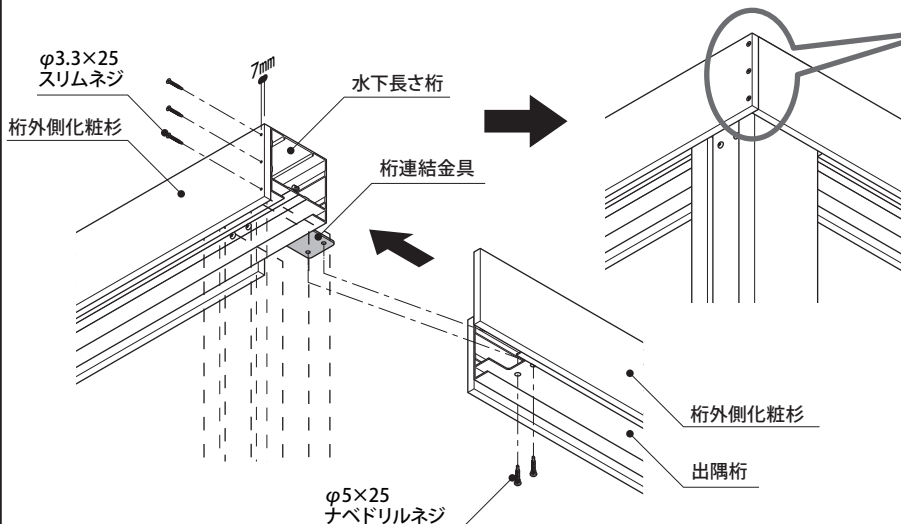
#### 納まり図

#### ご注意

出幅桁アルミ部の切り欠きに、桁連結金具の短い方(※)を通すように取り付けてください。



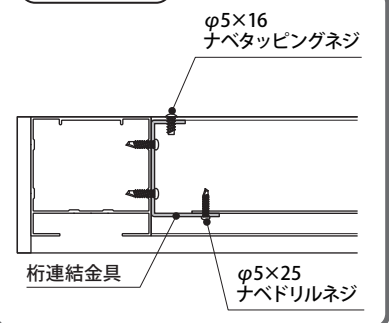
- ③ 出幅桁下面から桁連結金具下面の通し孔を、 $\phi 5 \times 25$  ナベドリルネジで取り付けます。  
④ 桁外側化粧杉の端部を、 $\phi 3.3 \times 25$  スリムネジで取り付けます。



#### ご注意

ネジ足が出ないように注意してください。

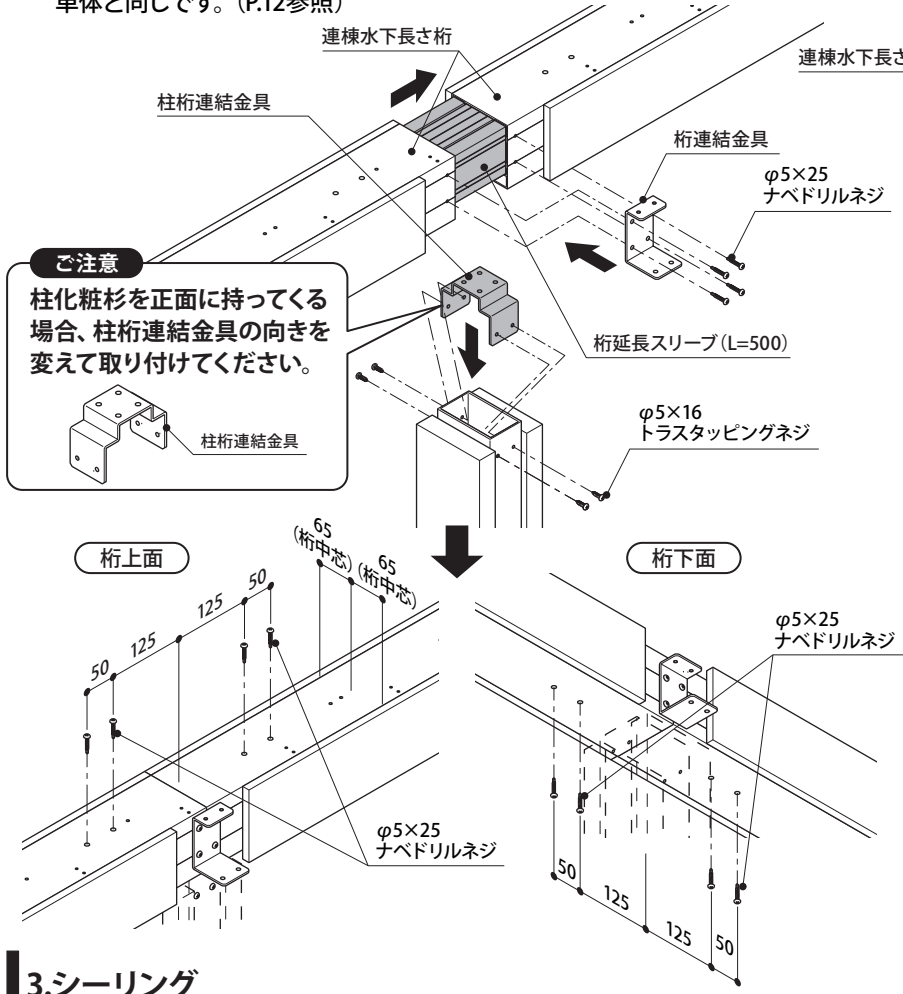
#### 納まり図



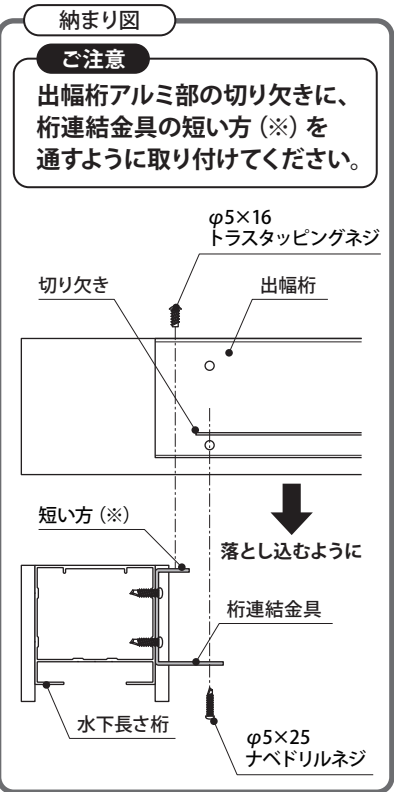
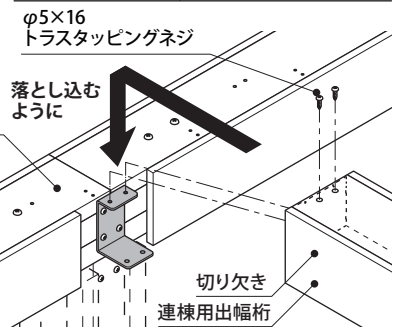
## 2. フレームの施工

### 2. 連棟の場合

- ① 連棟水下長さ桁の中間に桁延長スリーブ (L=500) を挿入し、 $\phi 5 \times 25$  ナベドリルネジで桁上面・桁下面両方から共締めします。  
(その際、ねじ止め箇所には $\phi 3.5$ で下孔をあけます。詳細寸法は左下図を参照。)
- ② 桁連結金具・柱桁連結金具が連棟長さ桁2本と共締めになるので注意してください。  
(左上図を参照) それ以外のネジや取り付け方法等は、単体と同じです。(P.11参照)
- ③ 出幅桁も専用の延長用出幅桁を使用します。使用するネジや取り付け方法等は、単体と同じです。(P.12参照)



部材名	梱包名称
連棟水上長さ桁 (左)	長さ桁セット
連棟水上長さ桁 (右)	
連棟水下長さ桁 (左)	
連棟水下長さ桁 (右)	
延長用出幅桁	出幅桁セット



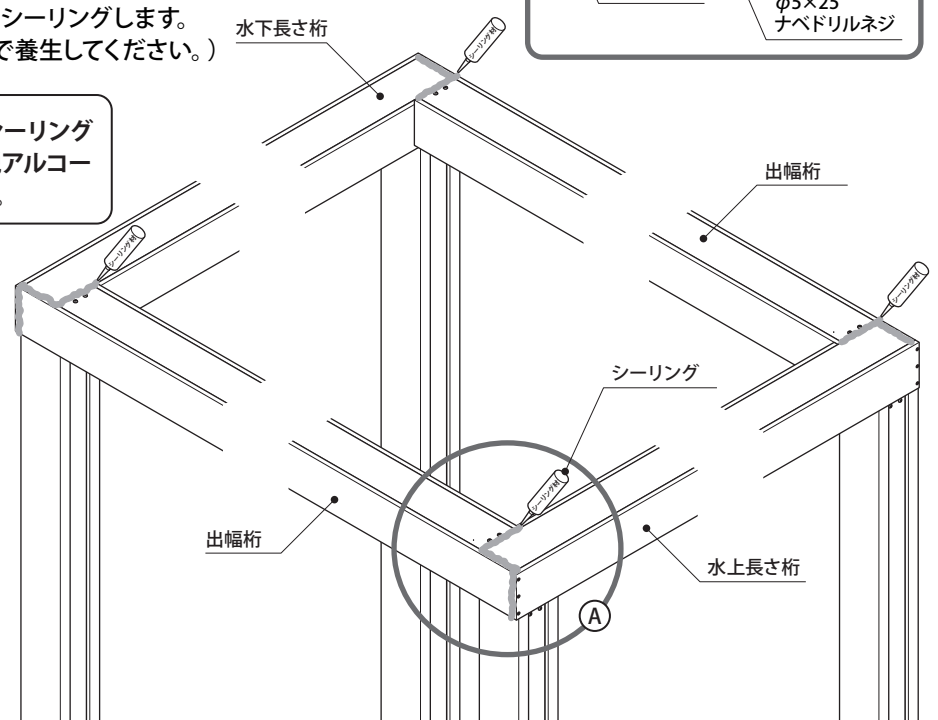
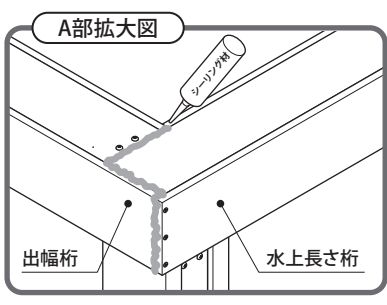
### 3. シーリング

- ① 長さ桁、出幅方向桁のつなぎ目をシーリングします。  
(その際、つなぎ目以外はテープ等で養生してください。)

**ご注意**  
ポリカーボネイト等に、シリコン系シーリング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材をご使用ください。

■シーリング材の推奨品

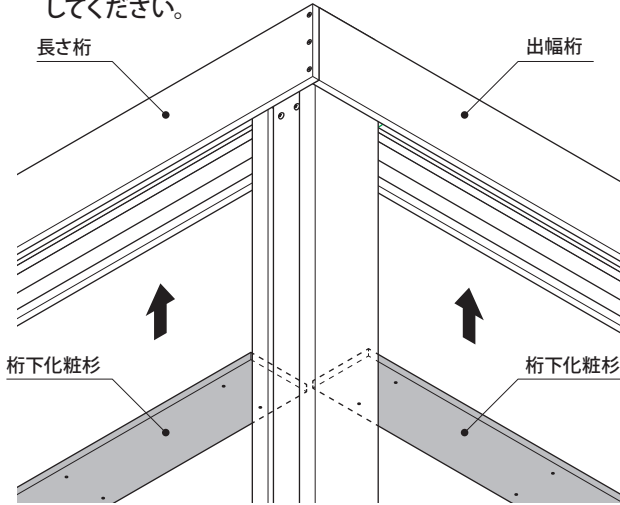
商品名	会社名
シーラント72	信越科学 (株)
トスシール380	モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン (株)
SE960	ダウ・東レ (株)



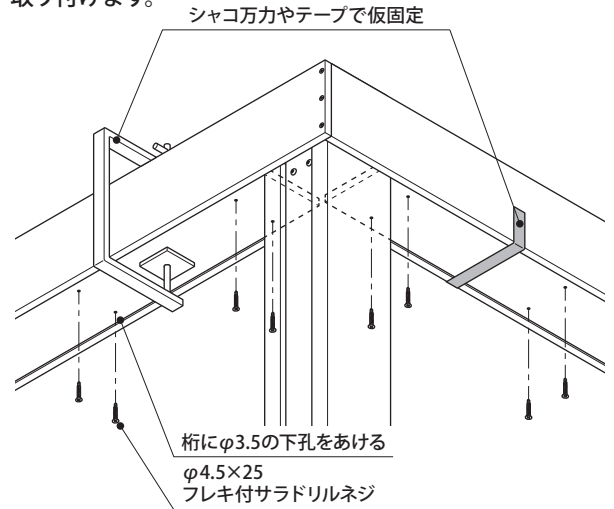
## 2. フレームの施工

### 4. 桁下化粧杉の取付

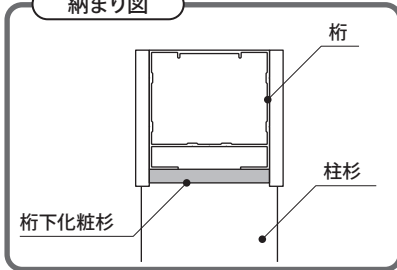
- ① 桁下化粧杉を長さ桁・出幅桁の下面に取り付けます。桁下化粧杉のどちらかの端部を柱と桁の間に挿入し、しならせるようにもう片方の端部も柱と桁下へ挿入してください。



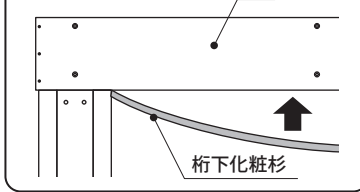
- ② その後左右のバランスを調節し、シャコ万力やテープで仮固定し、桁下化粧杉の下孔に合わせ、桁にφ3.5の下孔をあけた後、φ4.5×25フレキ付サラドリルネジで取り付けます。



納まり図



桁下化粧杉は軽くしならせながら、取り付けてください。桁



**ご注意**

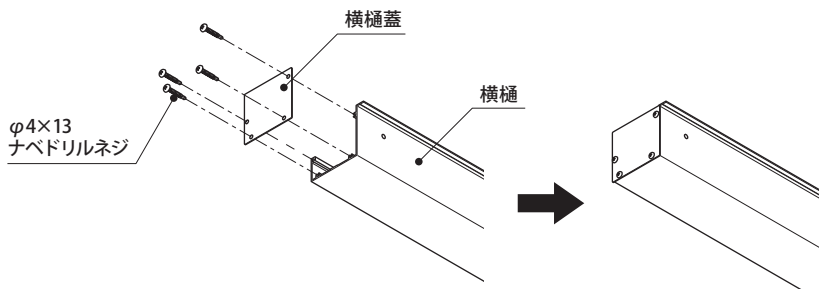
φ4.5×25フレキ付サラドリルの取り付け前に、必ずφ3.5の下孔をあけてください。

部材名	梱包名称
長さ桁下化粧杉	長さセット
出幅桁下化粧杉	出幅セット

### 3. 横樋の取付

#### 1. 横樋の加工

- ① 横樋の両端部にφ4×13ナベドリルネジで横樋蓋を取り付けます。

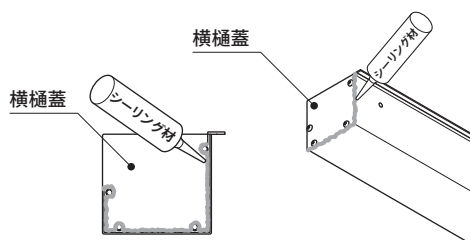


部材名	梱包名称
横樋	長さ桁セット
横樋蓋	

**ご注意**

横樋を桁に取り付ける前に、Nアタッチメント等の取付孔を加工してください。(P.16①を参照)

- ② 横樋蓋部分、横樋連結スリーブヘシーリングをします。(その際、杉や他アルミ部に付着しないよう注意してください。)



**ご注意**

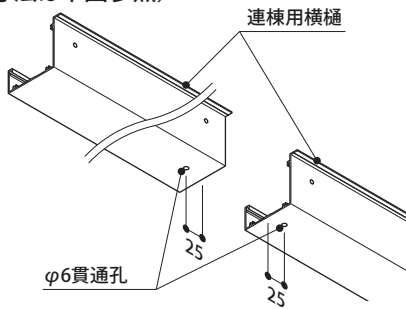
シーリングは、当社指定の脱アルコール系シーリング材をご使用ください。詳細はP.13を参照してください。



### 3.横樋の取付

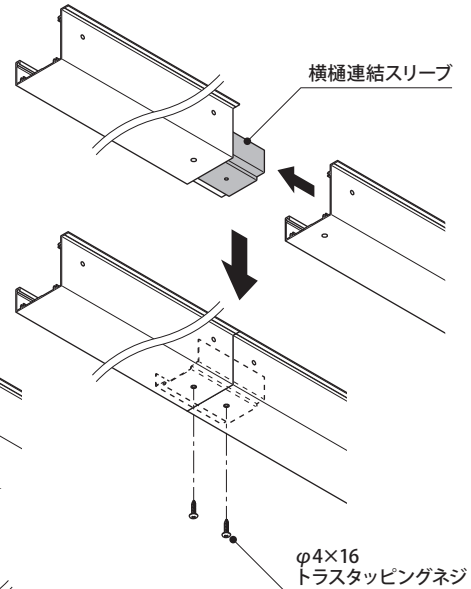
#### 2.横樋の連結（連棟の場合）

- ① 連棟用横樋の連結部へ横樋連結スリーブ取付孔をあけます。  
（詳細寸法は下図参照）

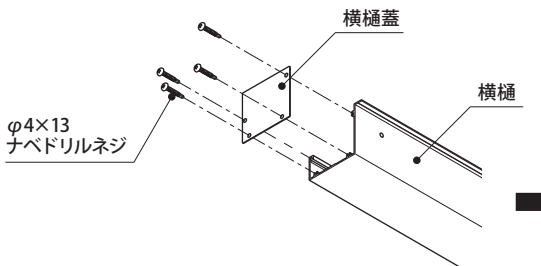


部材名	梱包名称
連棟用横樋	長さ桁セット
横樋連結スリーブ	
横樋蓋	

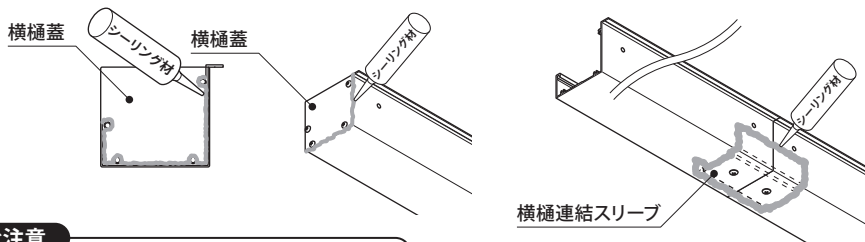
- ② 横樋連結スリーブをφ4×16トラスタッピングネジで取り付けます。



- ③ 横樋の両端部にφ4×13ナベドリルネジで横樋蓋を取り付けます。



- ④ 横樋蓋部分、横樋連結スリーブへシーリングをします。  
（その際、杉や他アルミ部に付着しないよう注意してください。）



#### ご注意

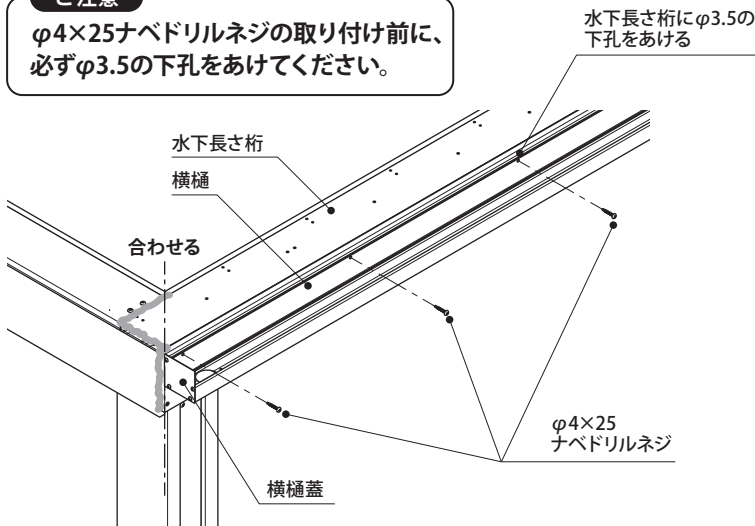
シーリングは、当社指定の脱アルコール系シーリング材をご使用ください。  
詳細はP.13を参照してください。

#### 3.横樋の取付

- ① 横樋蓋を水下長さ桁の正面化粧杉の端面に合わせ仮固定し、横樋の下孔に合わせ、水下長さ桁にφ3.5の下孔をあけた後、φ4×25ナベドリルネジで取り付けます。

#### ご注意

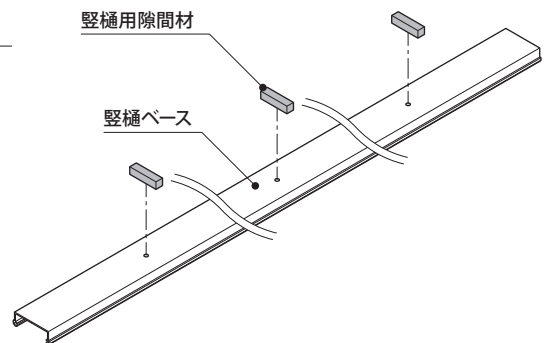
φ4×25ナベドリルネジの取り付け前に、必ずφ3.5の下孔をあけてください。



### 4.縦樋の取付

#### 1.縦樋の加工

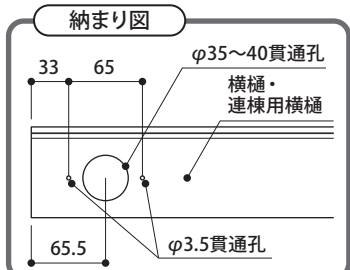
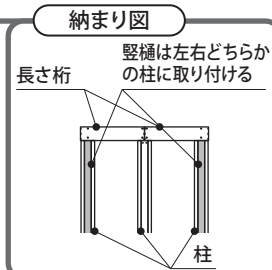
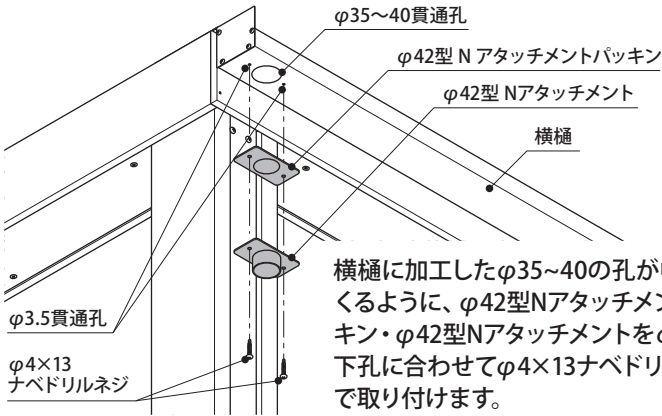
- ① 縦樋ベースの下孔部分へ、縦樋用隙間材の裏面の両面テープを剥がし貼り付けます。  
（柱杉部が正面になる場合必要ありません。）



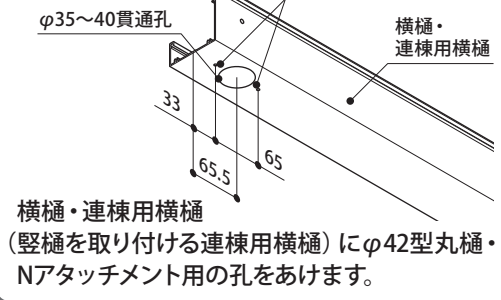
部材名	梱包名称
縦樋ベース	縦樋セット
縦樋用隙間材	

# 4. 縦樋の取付

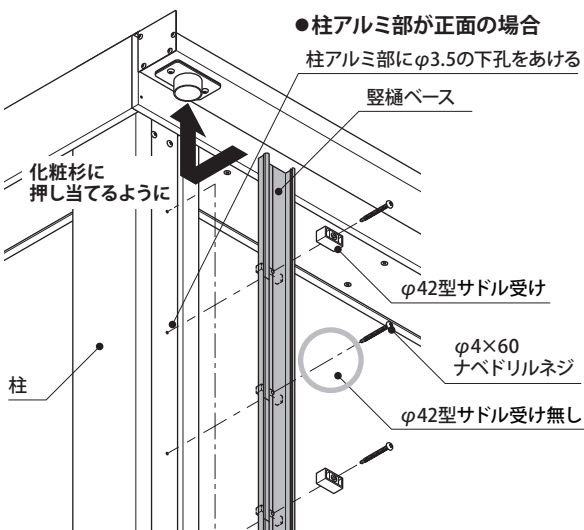
## ② 横樋へのNアタッチメント・Nアタッチメントパッキンの取付



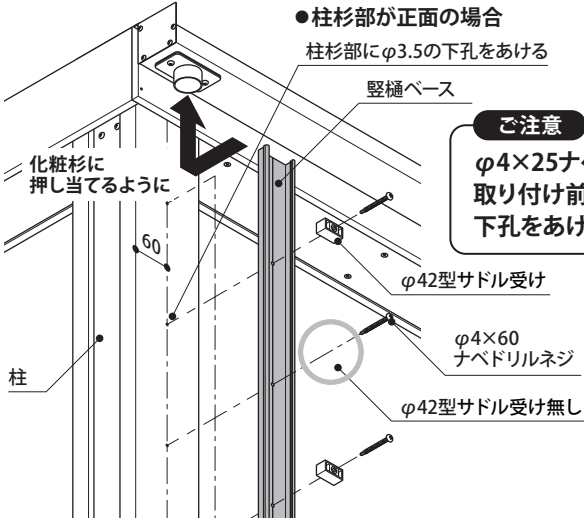
## ① 横樋の加工



## ③ 縦樋ベースの取付

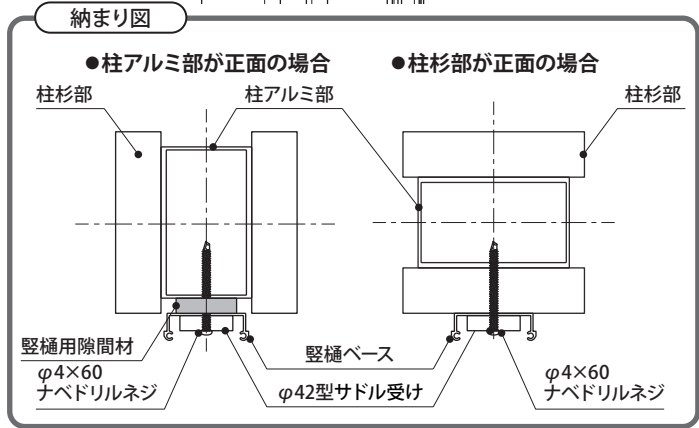
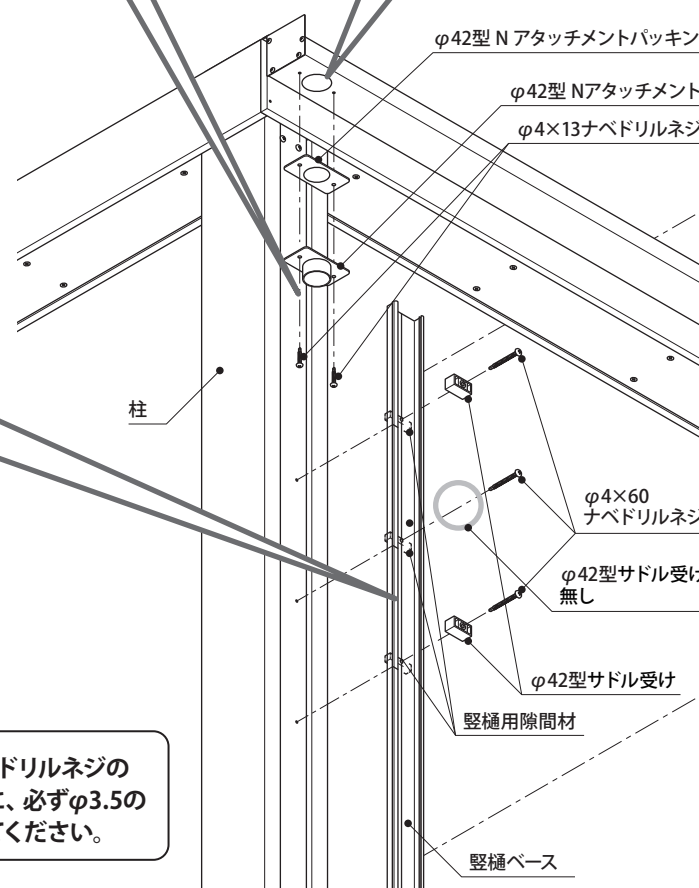


縦樋用隙間材が付いた縦樋ベースを柱の化粧杉の間にいれ、縦樋ベースを水下長さ桁の側面化粧杉に押し当てるようにテープ等で固定し、φ4×60ナベドリルネジでφ42型サドル受けと共締めします。  
(縦樋ベース中間部のネジ止め部のサドル受けは不要。)



縦樋用隙間材を付けずに縦樋ベースの下孔を柱杉部の中間 (60mmの位置) に合わせ、水下長さ桁の側面化粧杉に押し当てるようにテープ等で固定し、φ4×60ナベドリルネジでサドル受けと共締めします。  
(縦樋ベース中間部のネジ止め部のサドル受けは不要。)

**ご注意**  
φ4×25ナベドリルネジの取り付け前に、必ずφ3.5の下孔をあけてください。



# 4. 縦樋の取付

## ④ 丸樋の加工

φ42型丸樋

塩ビノコギリ等で  
カットする

φ42型丸樋を現場で合わせ、  
塩ビノコギリ等でカットします。

## ⑥ 縦樋水切りパッキン・丸樋・縦樋カバーの仮固定

縦樋  
水切りパッキン

縦樋ベース

縦樋  
水切りパッキン

縦樋カバー

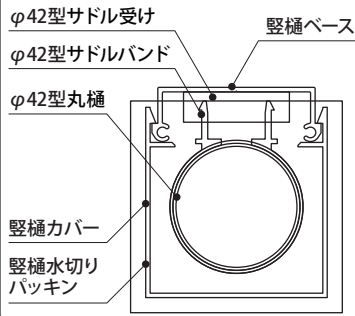
縦樋水切りパッキン  
に押し当てるように

φ42型丸樋

取り付けしたφ42型丸樋に、縦樋  
水切りパッキンを通します。

縦樋カバーを縦樋ベースにはめ込み、縦樋  
水切りパッキンを押し付けるようにテープ  
等で固定します。

### 納まり図



## ⑤ サドル受けへのサドルバンドのはめ込み

接着材

φ42型サドル受け

φ42型丸樋

φ42型  
サドルバンド

φ42型丸樋にφ42型サドルバンドを取り  
付け、φ42型サドル受けにはめ込みます。

## ⑦ 縦樋カバーの取付

1998  
1999

φ4×13  
ナベドリルネジ

φ3.5の下孔をあける

φ4×13  
ナベドリルネジ

φ4×13  
ナベドリルネジ

φ4×13  
ナベドリルネジ

φ4×13  
ナベドリルネジ

縦樋カバーの側面部をφ4×13 ナベドリル  
ネジで取り付けます。その際、φ3.5の下孔を  
あけて下さい

(反対面も同様。詳細寸法は上図を参照。)

## ⑧ 縦樋蓋の取付

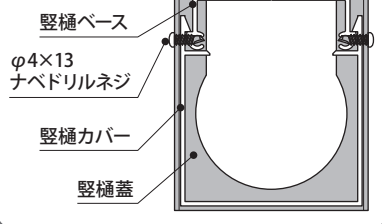
φ4×13  
ナベドリルネジ

縦樋カバーに  
φ3.5の下孔をあける

縦樋蓋

縦樋カバーに縦樋蓋をはめ込み、  
縦樋蓋の下孔の位置にφ3.5の  
下孔をあけ、φ4×13 ナベドリル  
ネジで取り付けます。

### 納まり図



### ご注意

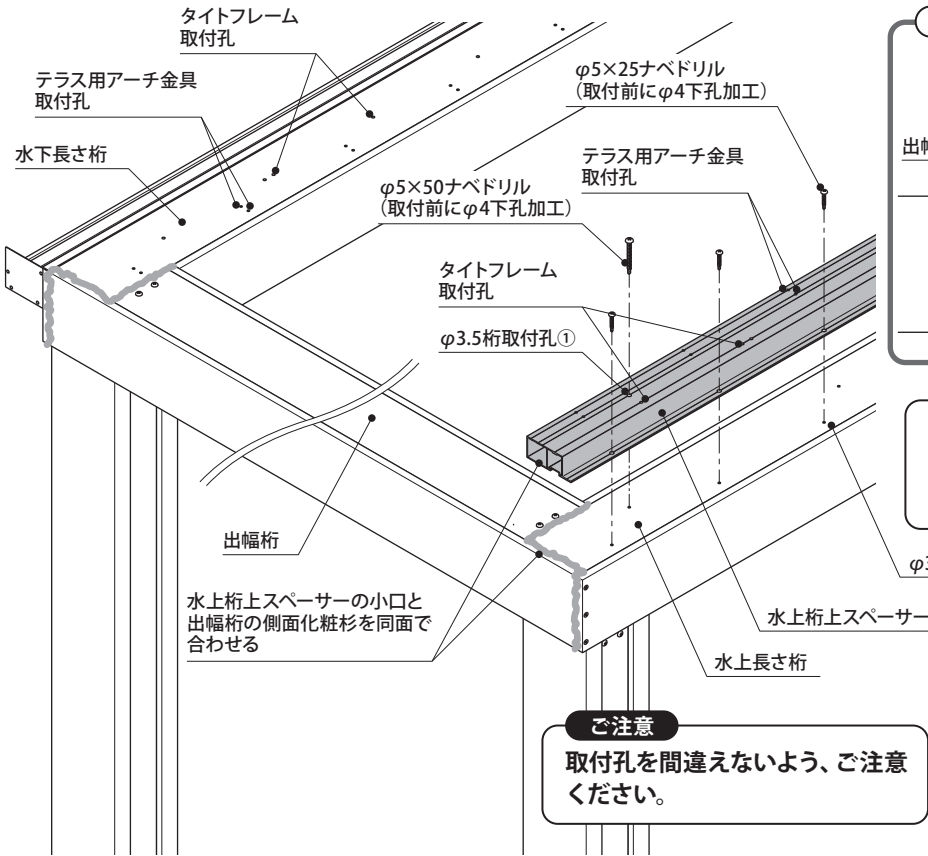
φ4×13ナベドリルネジの  
取り付け前に、必ずφ3.5の  
下孔をあけてください。

## 5.テラス用アーチの取付

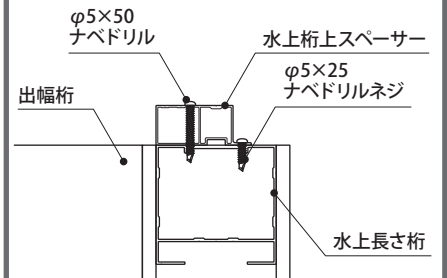
### 1.水上桁上スペーサーの取付

- ①水上長さ桁の上に水上桁上スペーサーを置き、左右の端部が出幅桁の側面化粧杉と同面になるように配置し、桁取付孔①にφ5×50 ナベドリルネジ、桁取付孔②にφ5×25 ナベドリルネジで取り付けます。  
(取り付け前にφ4の下孔をあけて下さい。)

部材名	梱包名称
水上桁上スペーサー	長さ桁セット
φ5×50ナベドリルネジ	
φ5×25ナベドリルネジ	



#### 納まり図



#### ご注意

φ5×25・φ5×50ナベドリルネジの取り付け前に、必ずφ4の下孔をあけてください。

#### ご注意

取付孔を間違えないよう、ご注意ください。

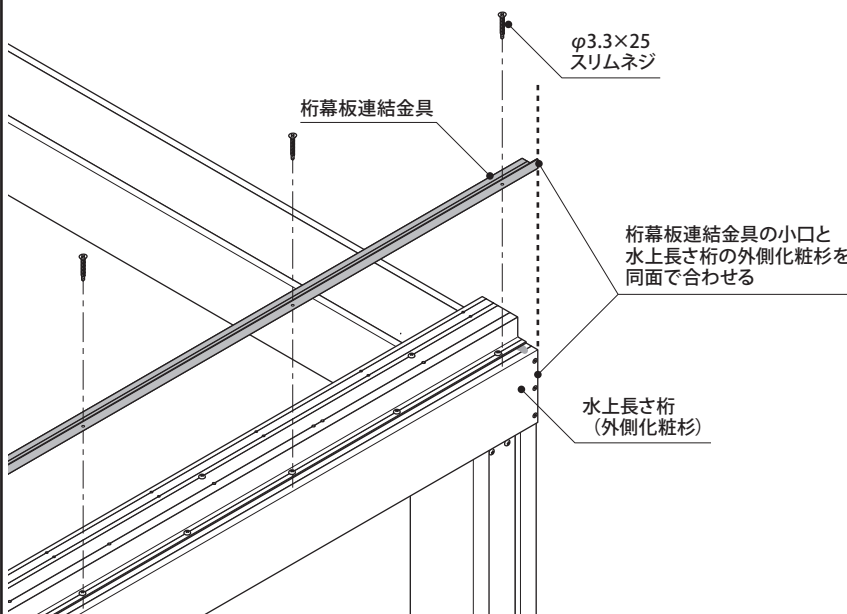
#### ご注意

水上長さ桁と水下長さ桁を間違えないよう、ご注意ください。

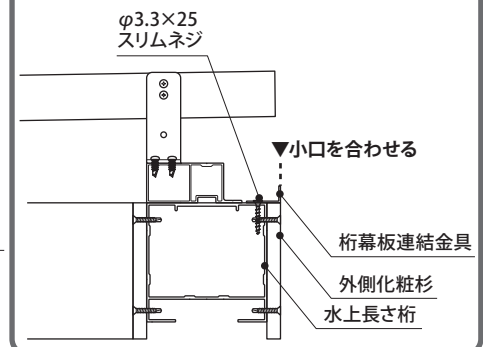
### 2.桁幕板連結金具の取付

- ①水上長さ桁の外側化粧杉と桁幕板連結金具の両端部を小口で合わせ、水上長さ桁の外側化粧杉と同面になるように、φ3.3×25 スリムネジで取り付けます。

部材名	梱包名称
桁幕板連結金具	幕板セット
φ3.3×25スリムネジ	



#### 納まり図

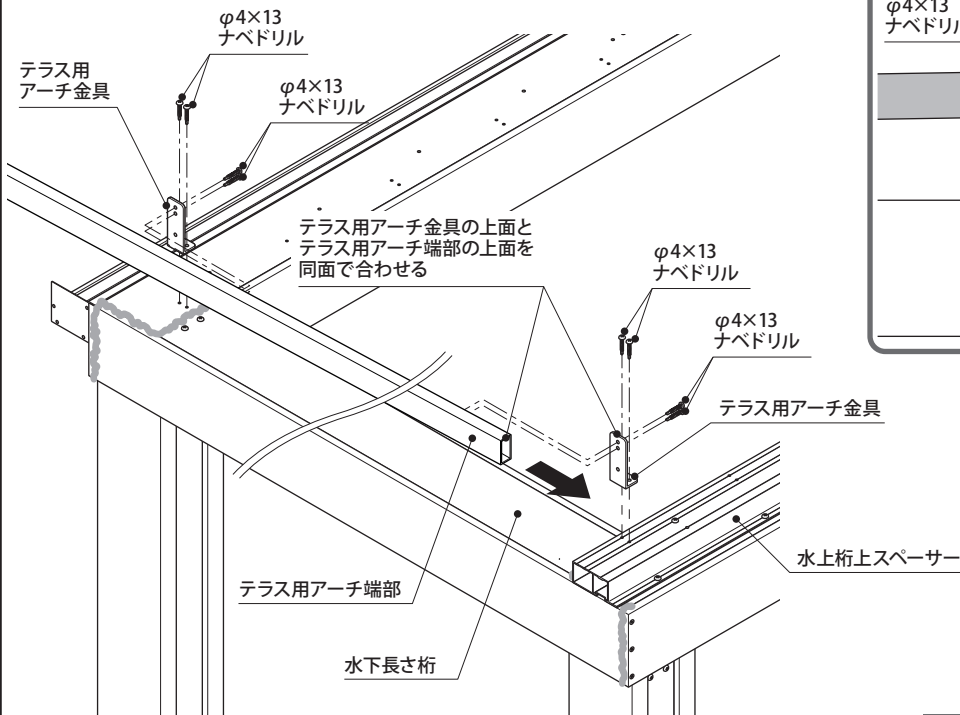


## 5.テラス用アーチの取付

### 3.テラス用アーチの取付

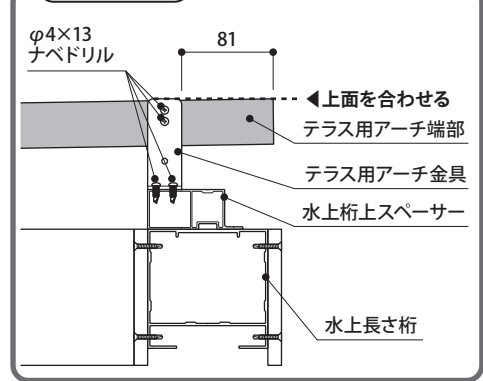
#### 1.テラス用アーチ端部の取付

- ①水上桁上スペーサー・水下長さ桁のアーチ金具取付孔に、φ4×13ナベドリルネジでテラス用アーチ金具を取り付けます。取り付けの際は、水上桁上スペーサー側のテラス用アーチ金具の上面とテラス用アーチ端部の上面を同面の位置で合わせてください。(ネジ止め位置・テラス用アーチ取付金具からの張り出し等は、右記納まり図を参照。)



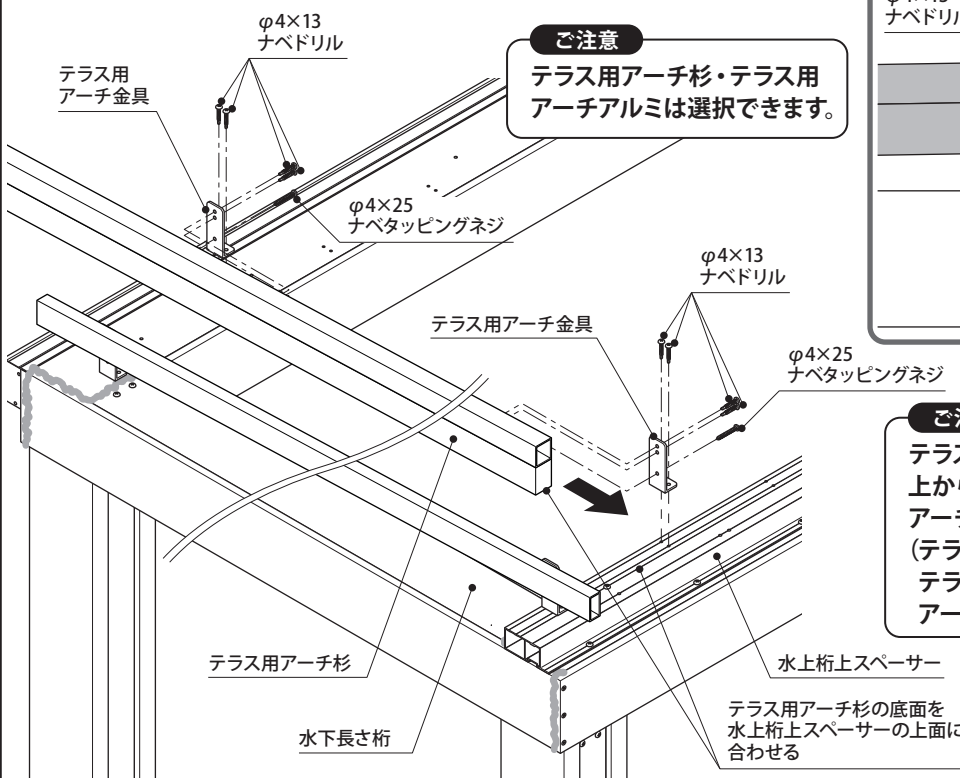
部材名	梱包名称
テラス用アーチ端部	テラス用アーチ端部セット
テラス用アーチ金具	
φ4×13ナベドリルネジ	

納まり図



#### 2.テラス用アーチの取付 (杉の場合)

- ①水上桁上スペーサー・水下長さ桁のアーチ金具取付孔に、φ4×13ナベドリルネジ・φ4×25ナベタッピングネジでテラス用アーチ金具を取り付けます。取り付けの際は、水上桁上スペーサー側のテラス用アーチ杉の底面を水上桁上スペーサーの上面に合わせて取り付けてください。(ネジ止め位置・テラス用アーチ取付金具からの張り出し等は、右記納まり図を参照。)

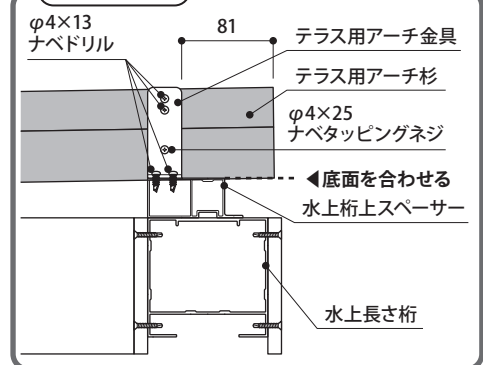


**ご注意**

テラス用アーチ杉・テラス用アーチアルミは選択できます。

部材名	梱包名称
テラス用アーチ杉	テラス用アーチ杉セット
テラス用アーチ金具	
φ4×13ナベドリルネジ	
φ4×25ナベタッピングネジ	

納まり図



**ご注意**

テラス用アーチの取り付け時、屋根材の上からビス止めする関係上、テラス用アーチは3本ずつ取り付けてください。(テラス用アーチ端部を取り付ける際は、テラス用アーチ端部1本+中間テラス用アーチ3本となります。)

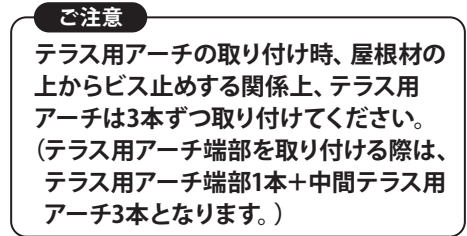
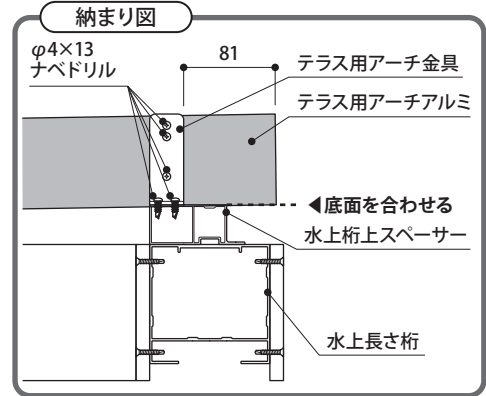
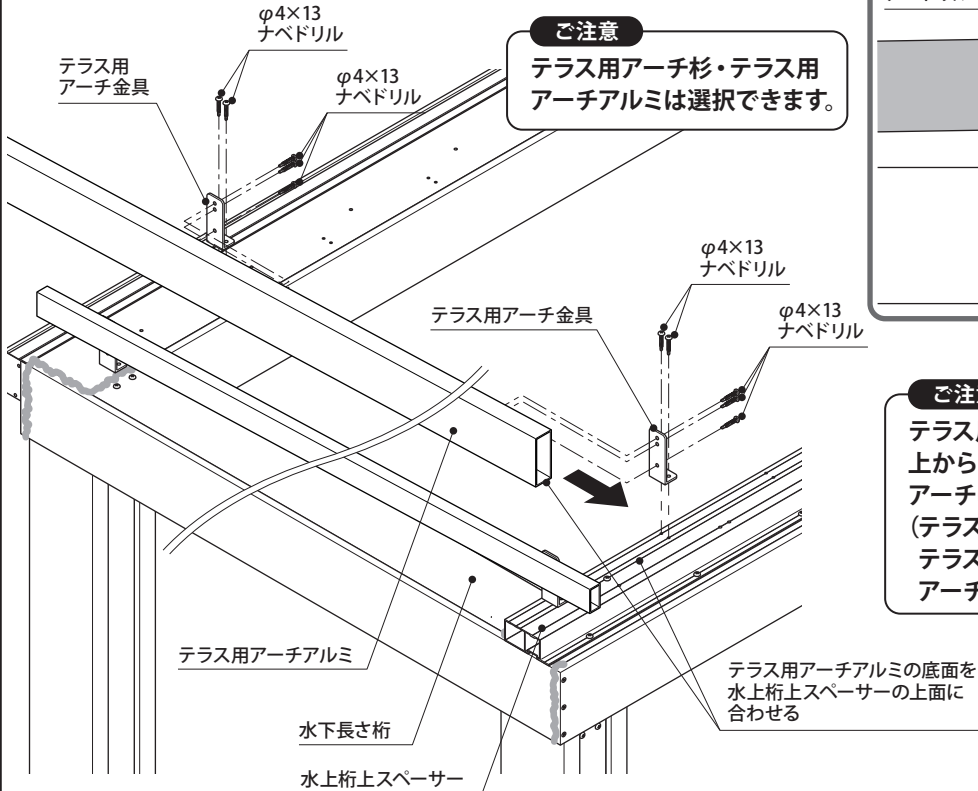


## 5.テラス用アーチの取付

### 3.テラス用アーチの取付 (アルミの場合)

①水上桁上スペーサー・水下長さ桁のアーチ金具取付孔に、φ4×13ナベドリルネジでテラス用アーチ金具を取り付けます。取り付けの際は、水上桁上スペーサー側のテラス用アーチアルミの底面を水上桁上スペーサーの上面に合わせて取り付けてください。(ネジ止め位置・テラス用アーチ取付金具からの張り出し等は、右記納まり図を参照。)

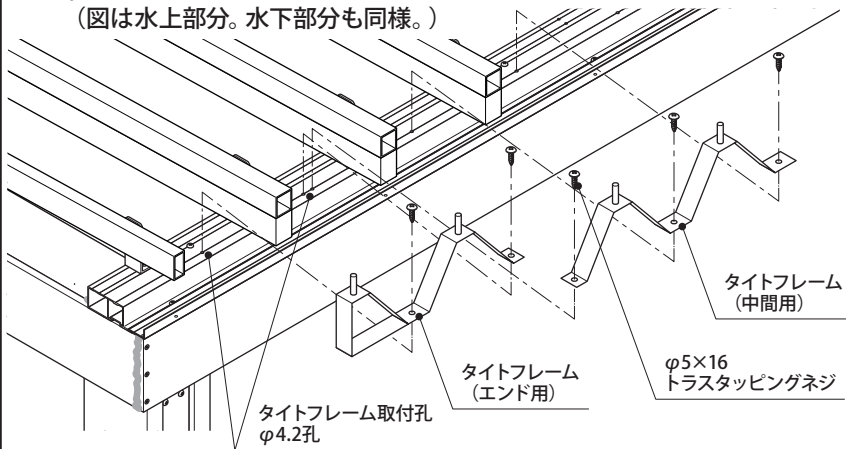
部材名	梱包名称
テラス用アーチアルミ	テラス用アーチアルミセット
テラス用アーチ金具	
φ4×13ナベドリルネジ	



# 6.屋根材の取付

## 1.タイトフレームの取付

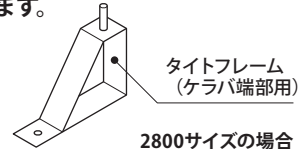
①水上桁上スペーサー・水下長さ桁のタイトフレーム取付孔φ4.2孔に、φ5×16トラスタッピングネジでタイトフレームを取り付けます。(図は水上部分。水下部分も同様。)



部材名	梱包名称
タイトフレーム (中間用)	タイトフレームセット
タイトフレーム (エンド用)	
タイトフレーム (ケラバ端部用)	
φ5×16トラスタッピングネジ	

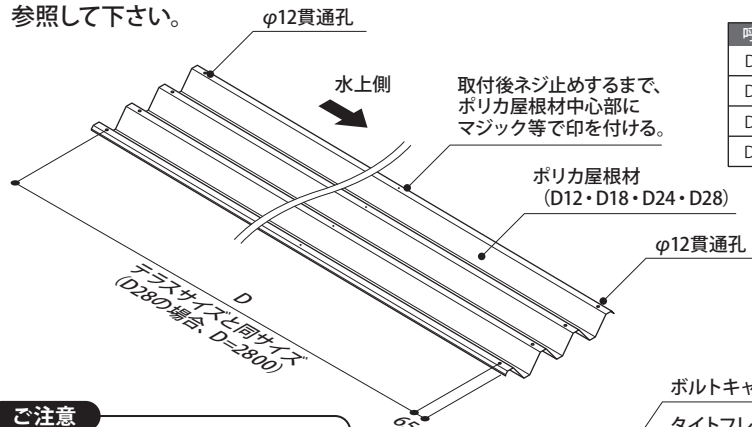
### ご注意

単体・連棟共に2800サイズのみ片側の端部のタイトフレームが異なります。



## 2.ポリカ屋根材の加工・取付

①ポリカ屋根材にタイトフレーム取付孔φ12孔をあけます。詳細寸法は下図を参照して下さい。



呼称	D寸法
D12	1200
D18	1800
D24	2400
D28	2800

部材名	梱包名称
ポリカ屋根材D12	屋根材 単体
ポリカ屋根材D18	
ポリカ屋根材D24	
ポリカ屋根材D28	
タイトフレーム用山座付ナット	タイトフレームセット
ボルトキャップ	
ゴムパッキン	
φ4×25CRゴムパッキン付ドリルネジ	

### ご注意

ポリカ屋根材端部のタイトフレーム用山座付ナット・φ4×25CRゴムパッキン付ドリルネジは、幕板側面や次に取り付ける屋根材と共締めになるため、今は止めません。ご注意ください。

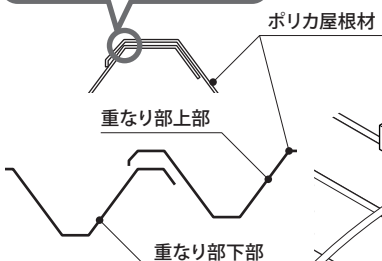
φ4×25CRゴムパッキン付ドリルネジ (取付前にφ3.5下孔加工)

※幕板側面と共締め用のため今は止めない

### ご注意

φ4×25CRゴムパッキン付ナベドリルネジの取り付け前に、必ずφ3.5の下孔をあけてください。

※水漏れ防止のため、この角を優先的に合わせてください。



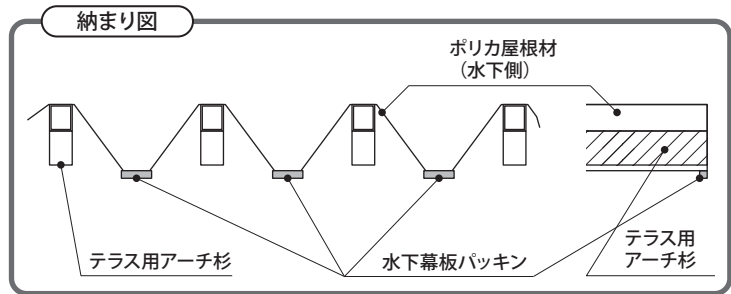
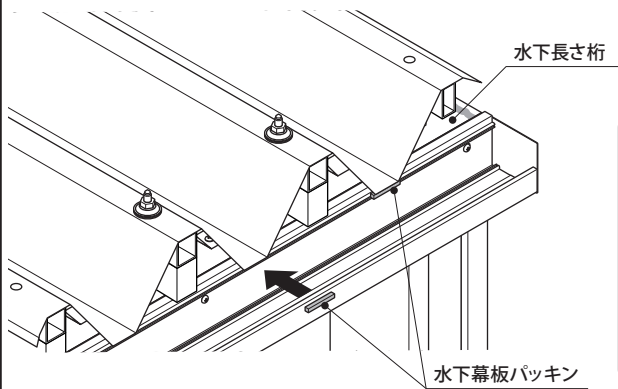
※次に取り付ける屋根材と共締め用のため、今は止めない

②①で加工した取付孔φ12孔にタイトフレームボルト部を通し、ポリカ屋根材を取り付けます。印を付けた部分はφ3.5の下孔をあけ、φ4×25CRゴムパッキン付ドリルネジでテラス用アーチとポリカ屋根材を共締めしてください。

## 6. 屋根材の取付

- ③ポリカ屋根材の水下側の谷部分に水下幕板パッキンを貼り付けます。  
詳細位置は下図を参照してください。

部材名	梱包名称
水下幕板パッキン	幕板セット

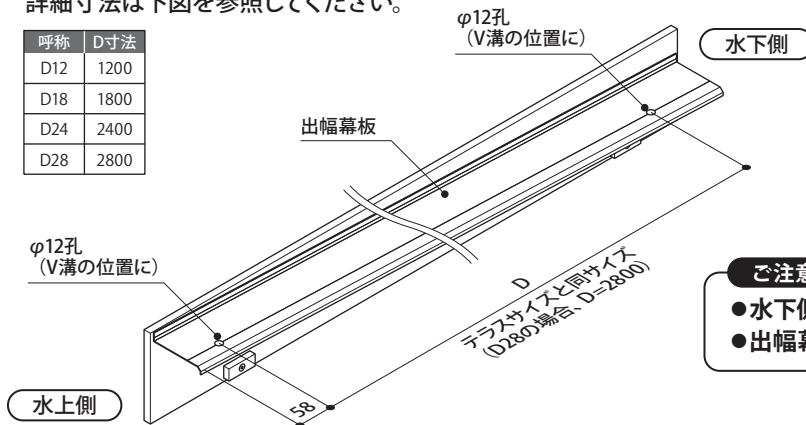


## 3. 幕板の加工

### 1. 出幅幕板の加工

- ①出幅幕板にφ12タイトフレーム取付孔をあけます。  
詳細寸法は下図を参照してください。

呼称	D寸法
D12	1200
D18	1800
D24	2400
D28	2800

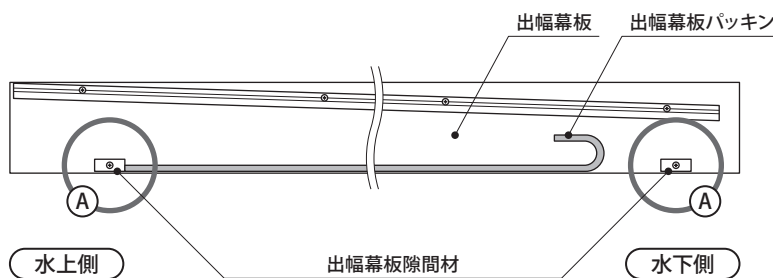


部材名	梱包名称
出幅幕板(左)	幕板セット
出幅幕板(右)	
出幅幕板パッキン	

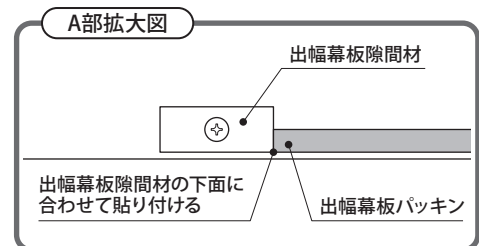
#### ご注意

- 水下側・水上側を間違えないよう、ご注意ください。
- 出幅幕板は左右があるので、ご注意ください。

- ②出幅幕板に出幅幕板パッキンを貼り付けます。

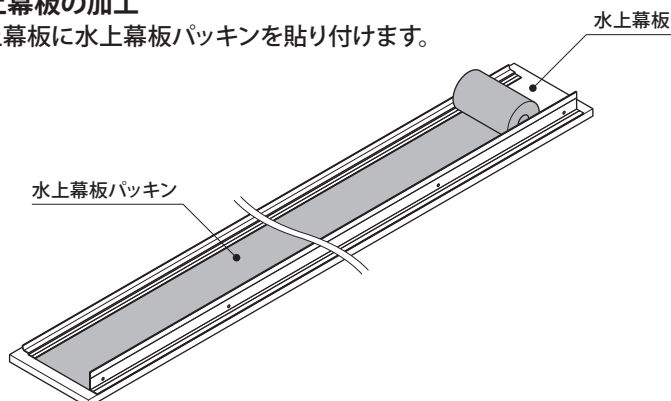


#### A部拡大図



### 2. 水上幕板の加工

- ①水上幕板に水上幕板パッキンを貼り付けます。



部材名	梱包名称
基本水上幕板	幕板セット
水上幕板パッキン	

#### ご注意

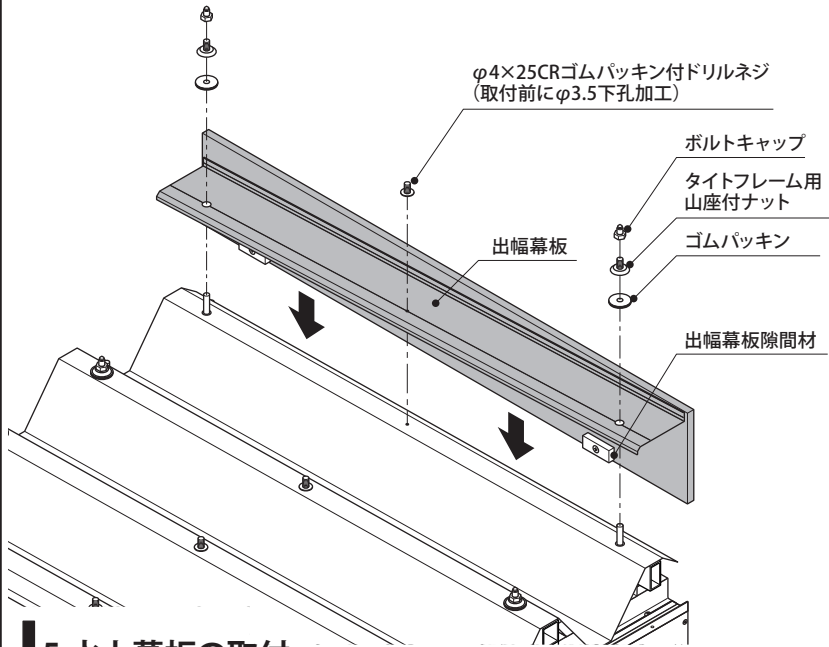
- 連棟タイプの場合、残った水上幕板パッキンは幕板のシーリングに使用するので、処分しないでください。



## 6.屋根材の取付

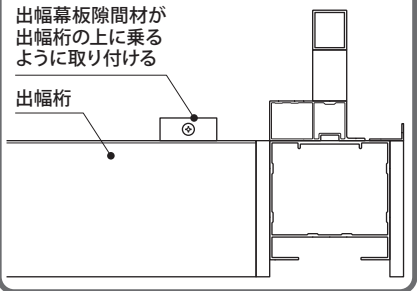
### 4.出幅幕板の取付

- ①出幅幕板に加工したタイトフレーム取付孔φ3.5にタイトフレームを通し、タイトフレーム用山座付ナットで取り付けます。  
その後、出幅幕板に屋根材のφ4×25CRゴムパッキン付ドリルネジと同線上の箇所にφ4×25CRゴムパッキン付ドリルネジを取り付けます。



部材名	梱包名称
出幅幕板(左)	幕板セット
出幅幕板(右)	
ボルトキャップ	タイトフレームセット
ゴムパッキン	
φ4×25CRゴムパッキン付ドリルネジ	

#### 納まり図



#### ご注意

φ4×25CR ゴムパッキン付ナベドリルネジの取り付け前に、必ずφ3.5の下孔をあけてください。

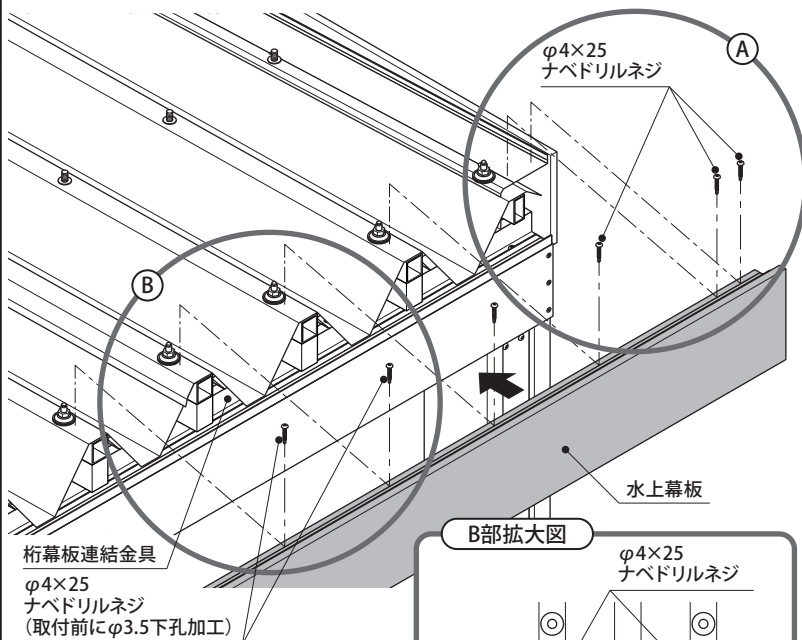
### 5.水上幕板の取付

#### 1.単体の場合

- ①水上幕板を水上長さ桁に取り付けた桁幕板連結金具にはめ込み、φ4×25ナベドリルネジで取り付けます。ねじ止め位置等は下図を参照して下さい。  
②出幅幕板の水切りと水上幕板のつなぎ目をシーリングします。

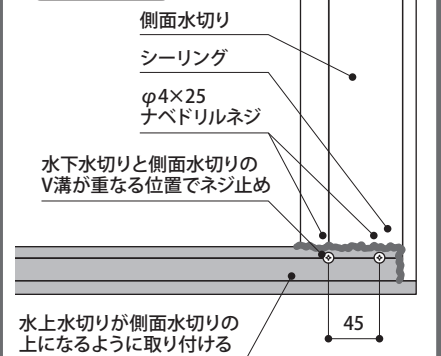
#### ご注意

シーリングは、当社指定の脱アルコール系シーリング材をご使用ください。詳細はP.13を参照してください。

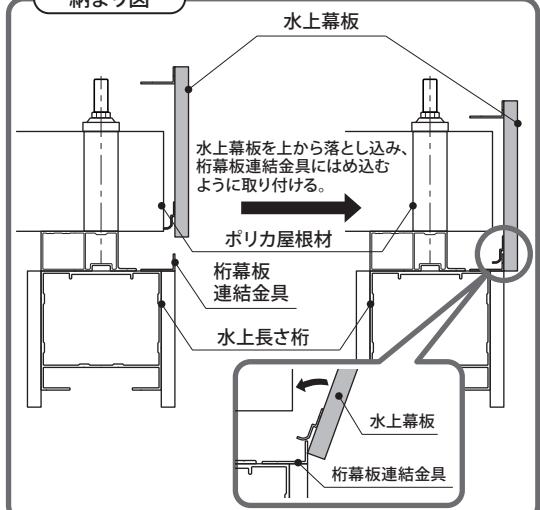


部材名	梱包名称
基本水上幕板	幕板セット
φ4×25ナベドリルネジ	

#### A部拡大図



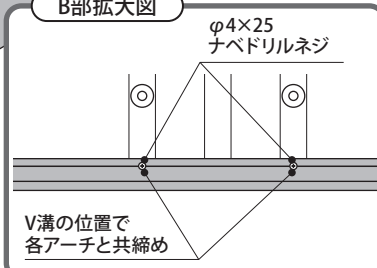
#### 納まり図



#### ご注意

φ4×25ナベドリルネジの取り付け前に、必ずφ3.5の下孔をあけてください。

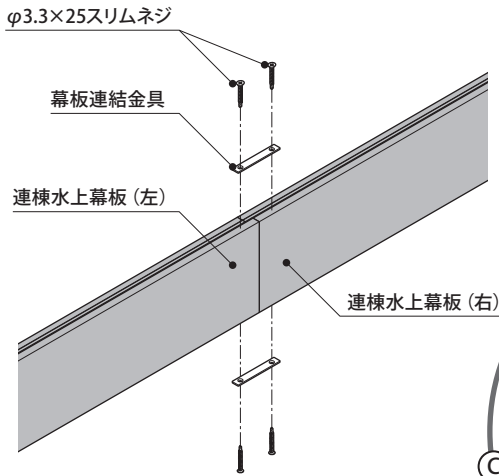
#### B部拡大図



## 6.屋根材の取付

### 2. 連棟の場合

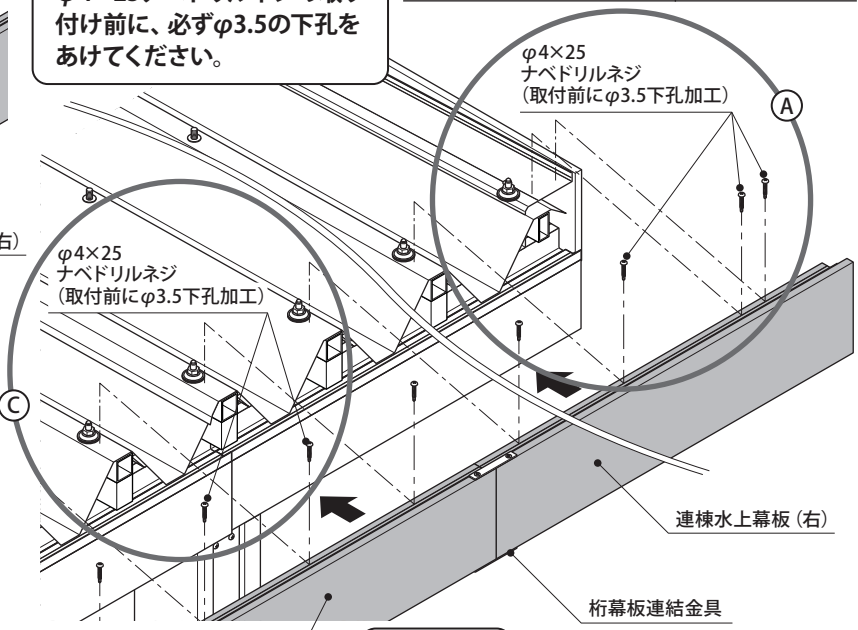
- ① 連棟水上幕板(左)と連棟水上幕板(右)を幕板連結金具を使い連結します。  
φ3.3×25スリムネジを使い連結してください。



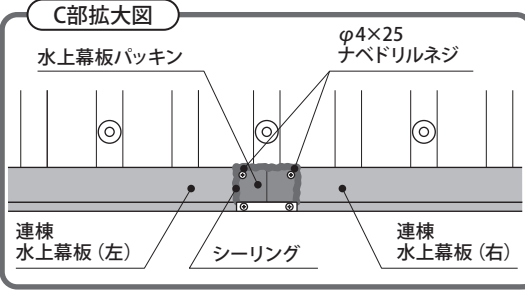
- ② 連結した連棟水上幕板を、水上長さ桁に取り付けた桁幕板連結金具にはめ込み、φ4×25ナベドリルネジで取り付けます。A部のねじ止め位置等はP.23を参照して下さい。

- ③ 水上幕板パッキンを切り、連結した連棟水上幕板のつなぎ目に貼り付け、シーリングします。

**ご注意**  
φ4×25ナベドリルネジの取り付け前に、必ずφ3.5の下孔をあけてください。



部材名	梱包名称
連棟水上幕板(左)	幕板セット
連棟水上幕板(右)	
幕板連結金具	
φ3.3×25スリムネジ	
φ4×25ナベドリルネジ	

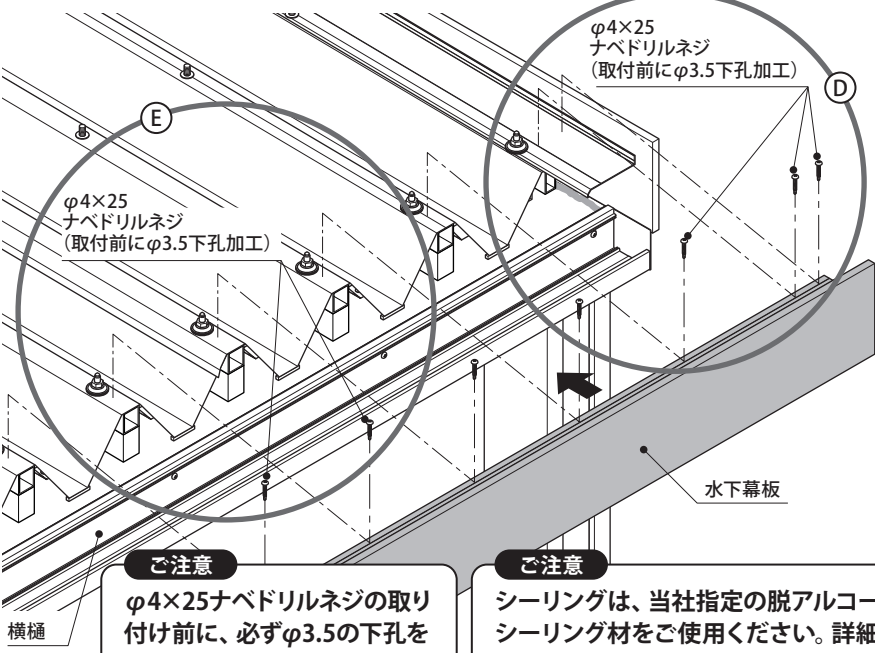


**ご注意**  
シーリングは、当社指定の脱アルコール系シーリング材をご使用ください。詳細はP.13を参照してください。

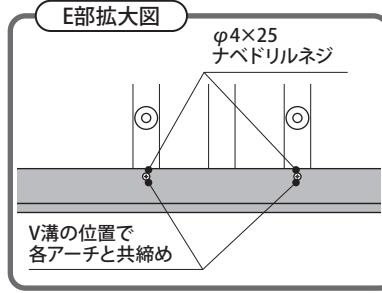
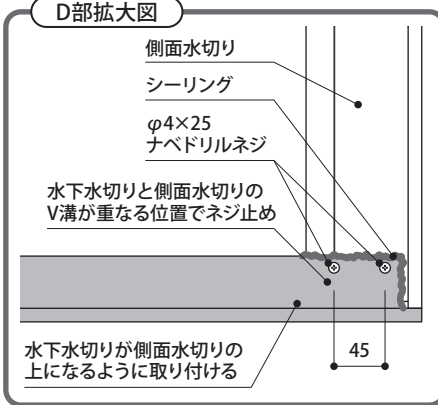
### 6. 水下幕板の取付

#### 1. 単体の場合

- ① 水下幕板を水下長さ桁に取り付けた横樋にはめ込み、φ4×25ナベドリルネジで取り付けます。ねじ止め位置等は下図を参照して下さい。
- ② 側面水切りと水下幕板のつなぎ目をシーリングします。



部材名	梱包名称
基本水下幕板	幕板セット
φ4×25ナベドリルネジ	



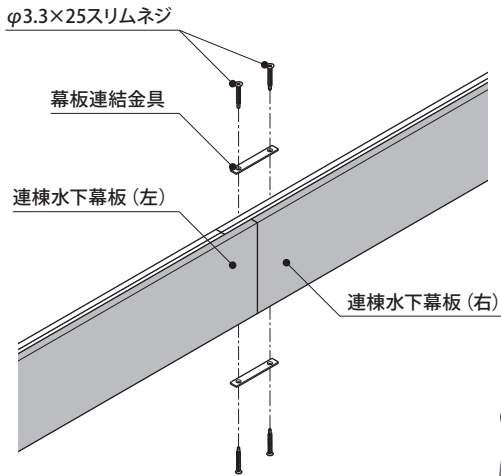
**ご注意**  
φ4×25ナベドリルネジの取り付け前に、必ずφ3.5の下孔をあけてください。

**ご注意**  
シーリングは、当社指定の脱アルコール系シーリング材をご使用ください。詳細はP.13を参照してください。

## 6.屋根材の取付

### 2.連棟の場合

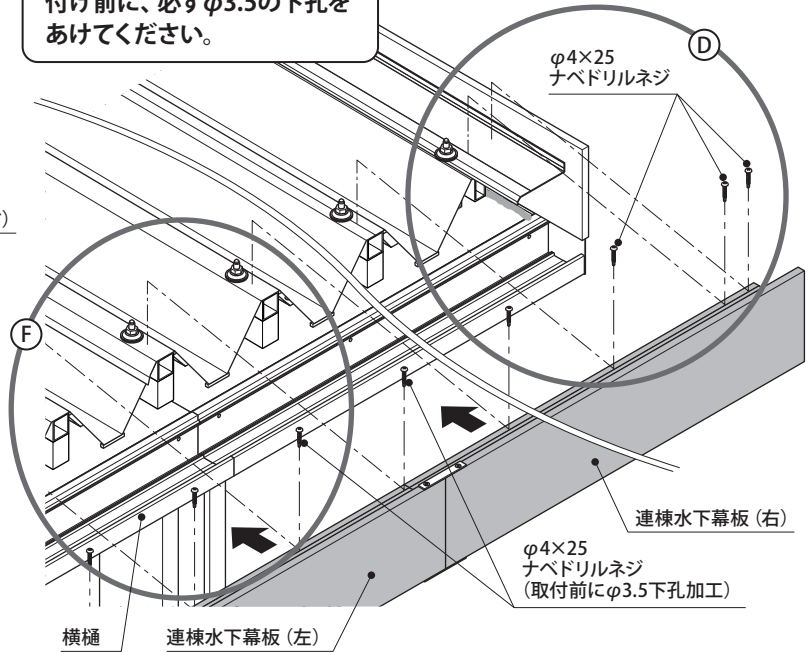
- ①連棟水下幕板(左)と連棟水下幕板(右)を幕板連結金具を使い連結します。  
φ3.3×25スリムネジを使い連結してください。



- ②連結した連棟水下幕板を、水下長さ桁に取り付けた横樋にはめ込み、φ4×25ナベドリルネジで取り付けます。  
D部のねじ止め位置等はP.24を参照して下さい。

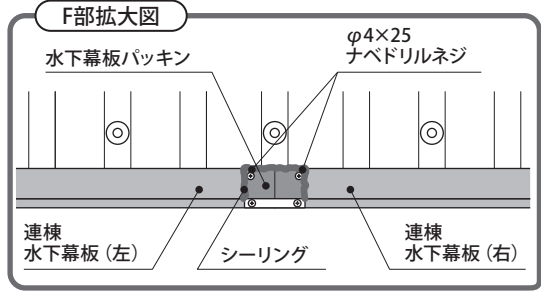
- ③水下幕板パッキンを切り、連結した連棟水下幕板のつなぎ目に貼り付け、シーリングします。

**ご注意**  
φ4×25ナベドリルネジの取り付け前に、必ずφ3.5の下孔をあけてください。



部材名	梱包名称
連棟水下幕板(左)	幕板セット
連棟水下幕板(右)	
幕板連結金具	
φ3.3×25スリムネジ	
φ4×25ナベドリルネジ	

**ご注意**  
シーリングは、当社指定の脱アルコール系シーリング材をご使用ください。  
詳細はP.13を参照してください。



取扱い店名